

第二回 浄土真宗に関する実態把握調査（2018年度） 結果報告書（概要編）

2019年1月21日



真宗教団連合

SHINSYU KYODAN RENGO



調査概要

1. 回答者プロフィール

性別・年代・未婚・同居形態	...	4
居住エリア・居住環境	...	5
信仰する宗教・信仰する浄土真宗の宗派	...	6

2. 門徒と寺院・僧侶の接点

菩提寺の有無および菩提寺との関係性	...	8
菩提寺への訪問率と訪問頻度	...	9
菩提寺での僧侶との関わり	...	10
菩提寺での僧侶との関わり【データ資料編】	...	11
菩提寺・本山からの情報提供	...	12
菩提寺・本山からの情報提供と菩提寺満足度	...	13
菩提寺・本山からの希望連絡方法	...	14
菩提寺との距離と「菩提寺との関わり/菩提寺満足度」	...	15
菩提寺との距離と「宗教関心度/信仰心」	...	16
まとめ 門徒と寺院・僧侶の接点	...	17

3. お墓参りと先祖供養

お墓・納骨堂の保有状況	...	19
お墓参りする時期	...	20
お墓参りの理由と必要なもの	...	21
先祖供養の意味	...	22
先祖供養に必要なもの	...	23
まとめ お墓参りと先祖供養	...	24

4. 浄土真宗に関する言葉の認知

【ご参考】浄土真宗についての認知 2017年度調査結果	...	26
「浄土」に対する認識	...	27
浄土真宗の言葉の意味	...	28
認知経路による認識率の格差	...	29
まとめ 浄土真宗に関する言葉の認知	...	30

5. 報恩講

報恩講の認知度	...	32
報恩講の参拝意向	...	33
報恩講参拝のきっかけになるもの	...	34
報恩講参拝のきっかけになるもの【データ資料編】	...	35
報恩講へ参拝したくなる取組み	...	36
まとめ 報恩講	...	37

6. オリジナル設問

真宗大谷派（東本願寺）の行事に関する参加・興味	...	39
浄土真宗救いのよここび	...	40



■ 調査目的： 宗教全般、および浄土真宗に関する認知状況や信仰実態を把握し、浄土真宗の教化施策を検討するための基礎資料とする。

■ 調査対象： 20～79歳の男女
 ①一般 浄土真宗10派を除く
 ②真宗10派 浄土真宗10派いずれかの信仰者

■ サンプル設定： n=4000

①一般	②真宗10派
2000	2000

※ ①②とも、事前調査で得られた出現率をもとに、エリア、性、年代の構成比が自然になるよう回収を実施しております。

■ 調査方法： インターネット調査

■ 調査時期： 【事前調査】 2018年10月24日（水）～ 11月5日（月）
 【本調査】 2018年10月31日（水）～ 11月5日（月）

■ サンプル抽出方： マクロミルが保有するモニタから抽出

■ 調査実施機関： 株式会社マクロミル

信仰する宗教(事前調査結果)



信仰する浄土真宗の宗派 (事前調査結果)

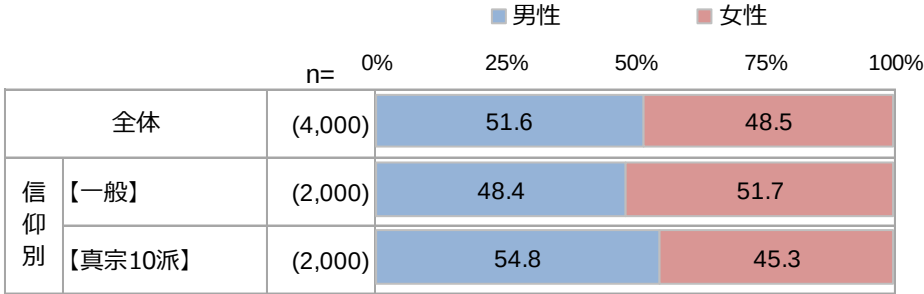




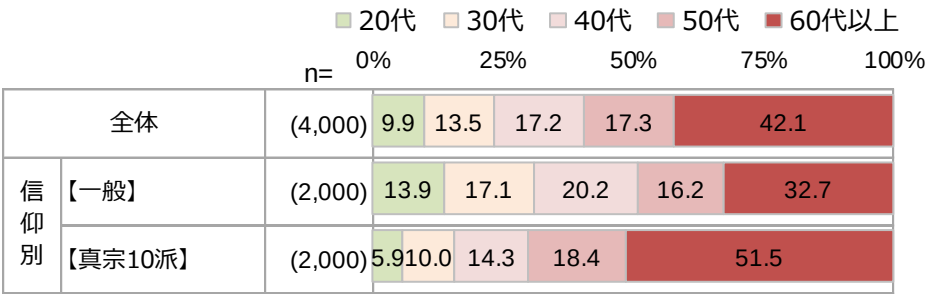
1. 回答者プロフィール



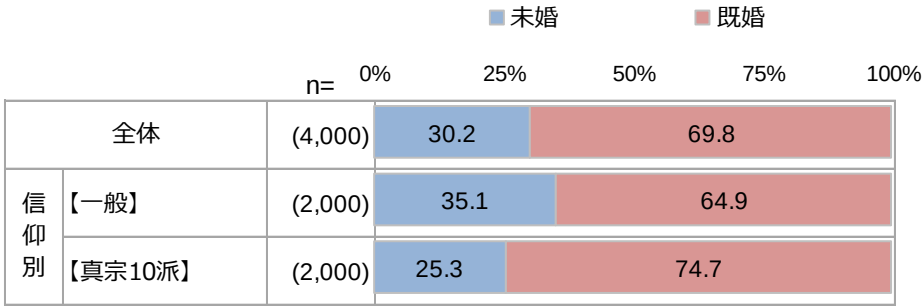
性別



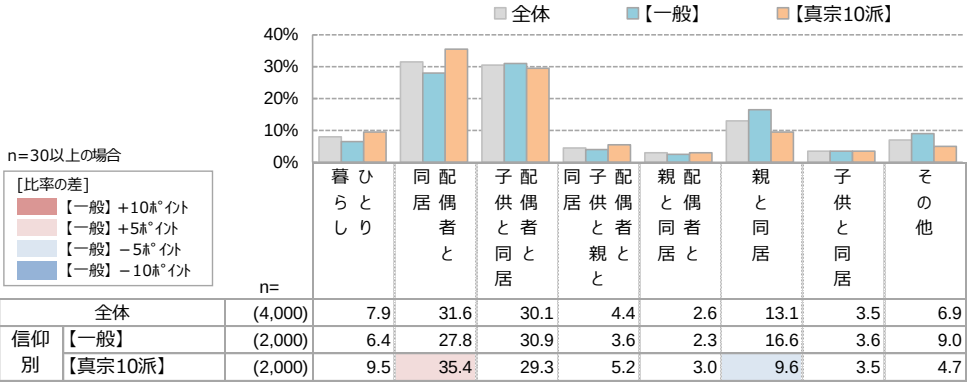
年代



未婚

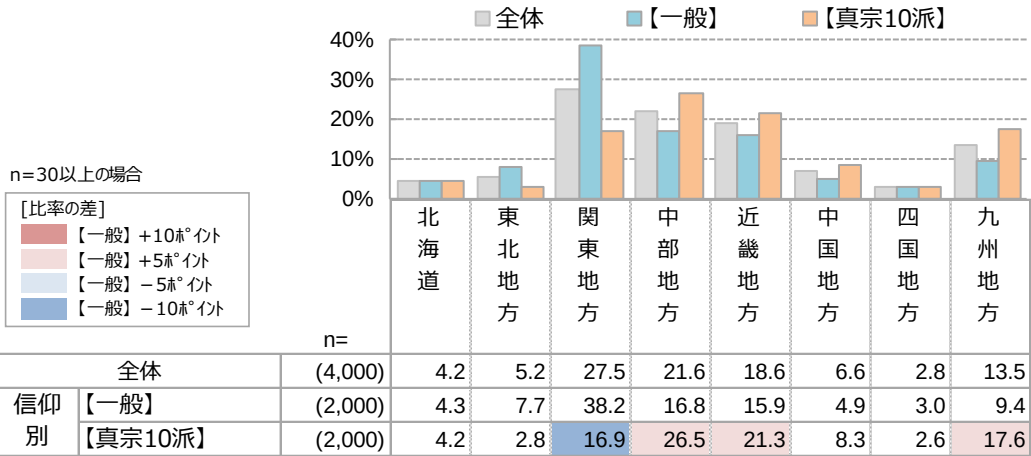


同居形態

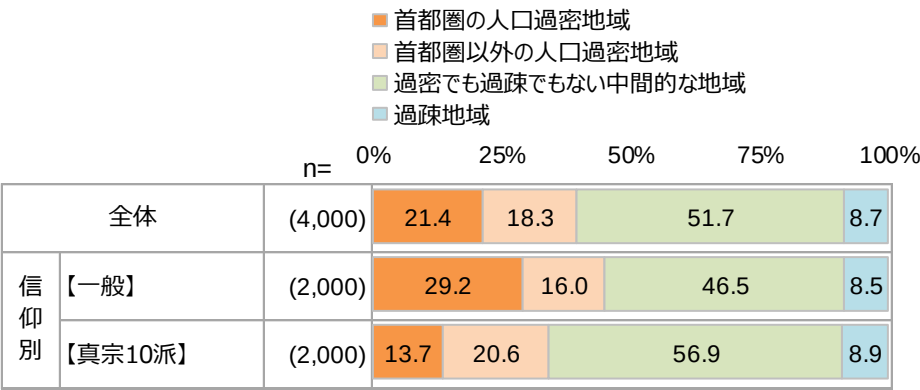




居住エリア

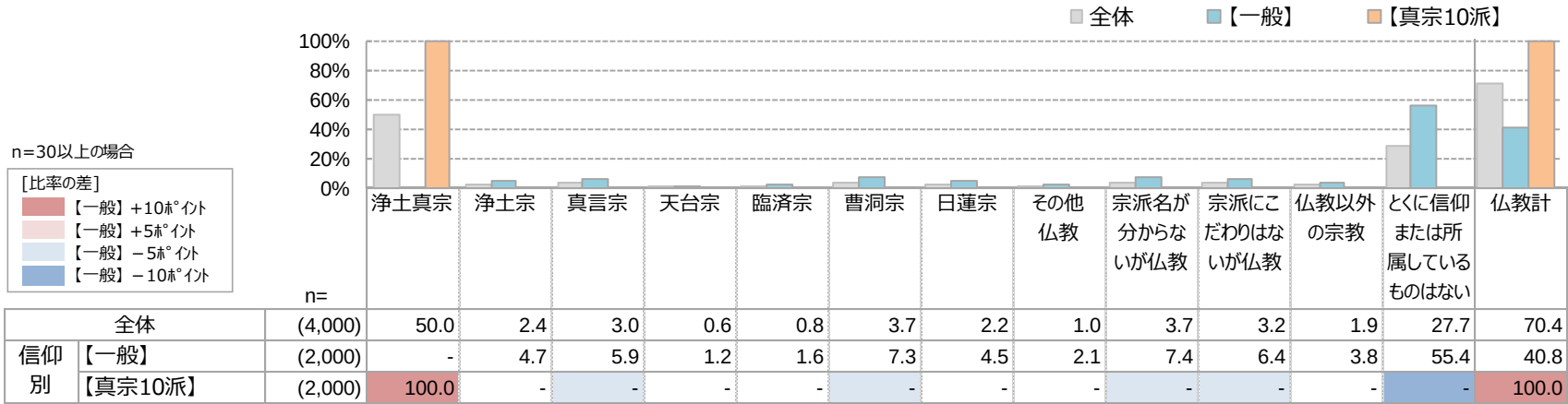


居住環境

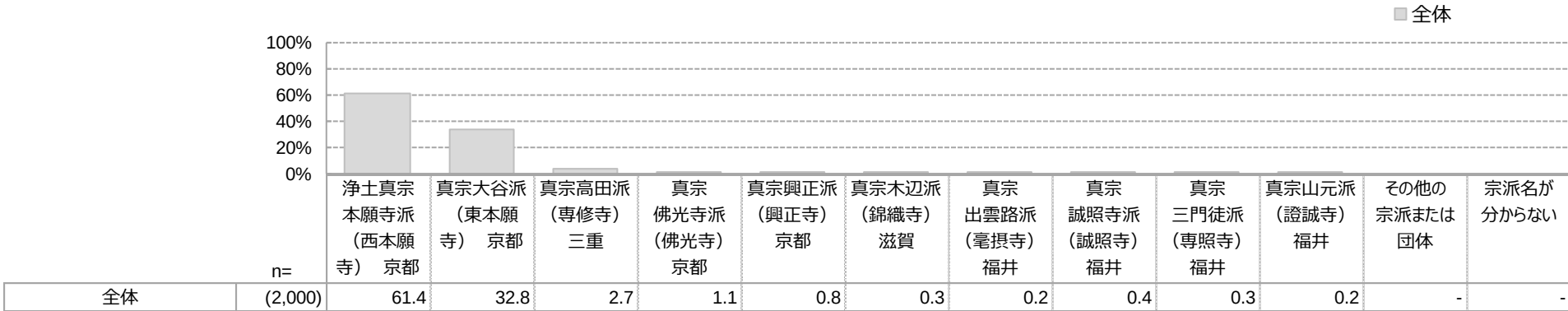




信仰する宗教(SQ3)



信仰する浄土真宗の宗派 (SQ4)





2. 門徒と寺院・僧侶の接点

※ 宗派を問わず回答者全員を対象とする設問であるため、所属寺、お手次ぎ寺院等、継続した法務関係のある寺院を表わす名称については、全日本仏教会が実施した「仏教に関する実態把握調査（2017年度）」および「浄土真宗に関する実態把握調査 2017年度）」に準じ、「菩提寺」との表記を今回調査でも踏襲した。

菩提寺の有無および菩提寺との関係性



真宗10派では菩提寺／定期的に訪問する寺院がある割合は77%となっている。

また真宗10派の菩提寺満足度は40%に留まるが、20-30代の菩提寺満足度が50%と他の年代より高い。

■ 真宗10派の菩提寺満足度に関して40%が満足していると回答しているが、53%が普通であると回答している。

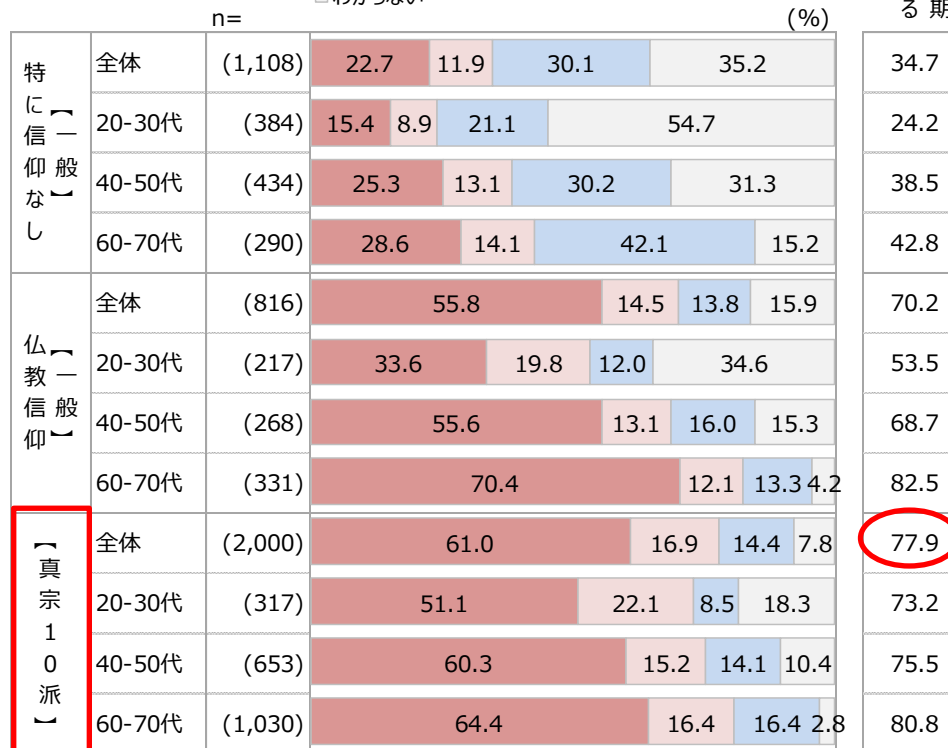
■ 特に信仰がないと回答している人たちでも34%の人に家系の菩提寺がある。満足度は22%となっている。

Q11：菩提寺の有無

※全員ベース

■ 菩提寺がある
■ 定期的に訪問する寺院はある
■ 菩提寺がない
■ わからない

寺 的 菩
院 に 提
あ 訪 寺
り 問 /
計 す 定
る 期



※菩提寺／定期的に訪問する寺院がある計

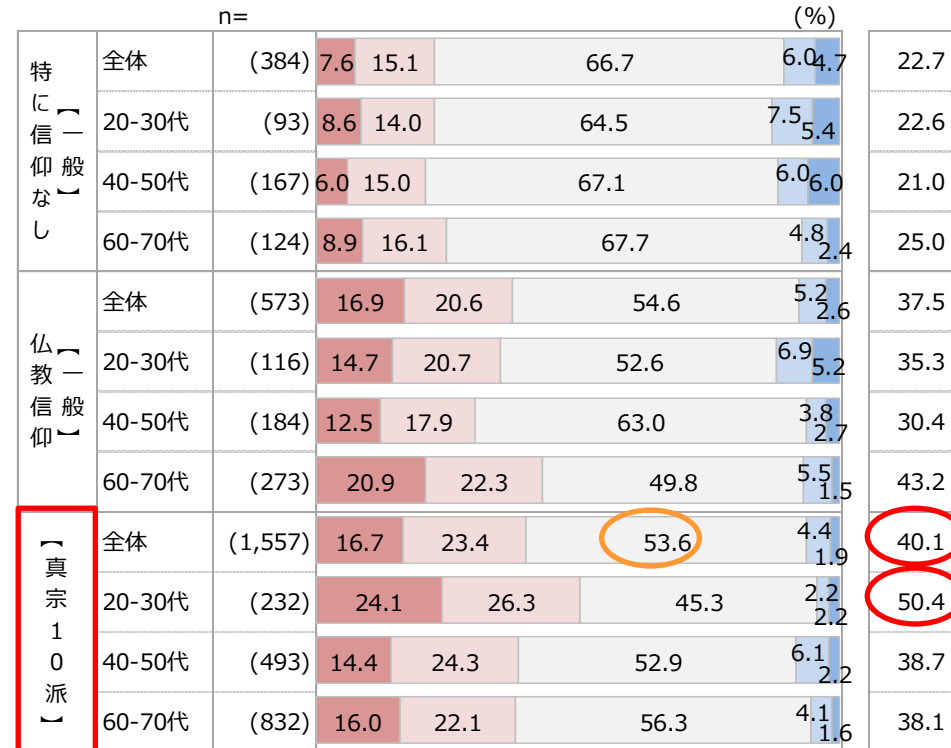
(「菩提寺がある」+「菩提寺と言えるかどうか分からないが、定期的に訪問する寺院はある」)

Q14：菩提寺との関係性

※菩提寺のある方ベース

■ 大変満足している
■ やや満足している
■ 普通である
■ やや不満がある
■ 大いに不満がある

満
足
計



※満足計(「大変満足している」+「やや満足している」)

菩提寺への訪問率と訪問頻度

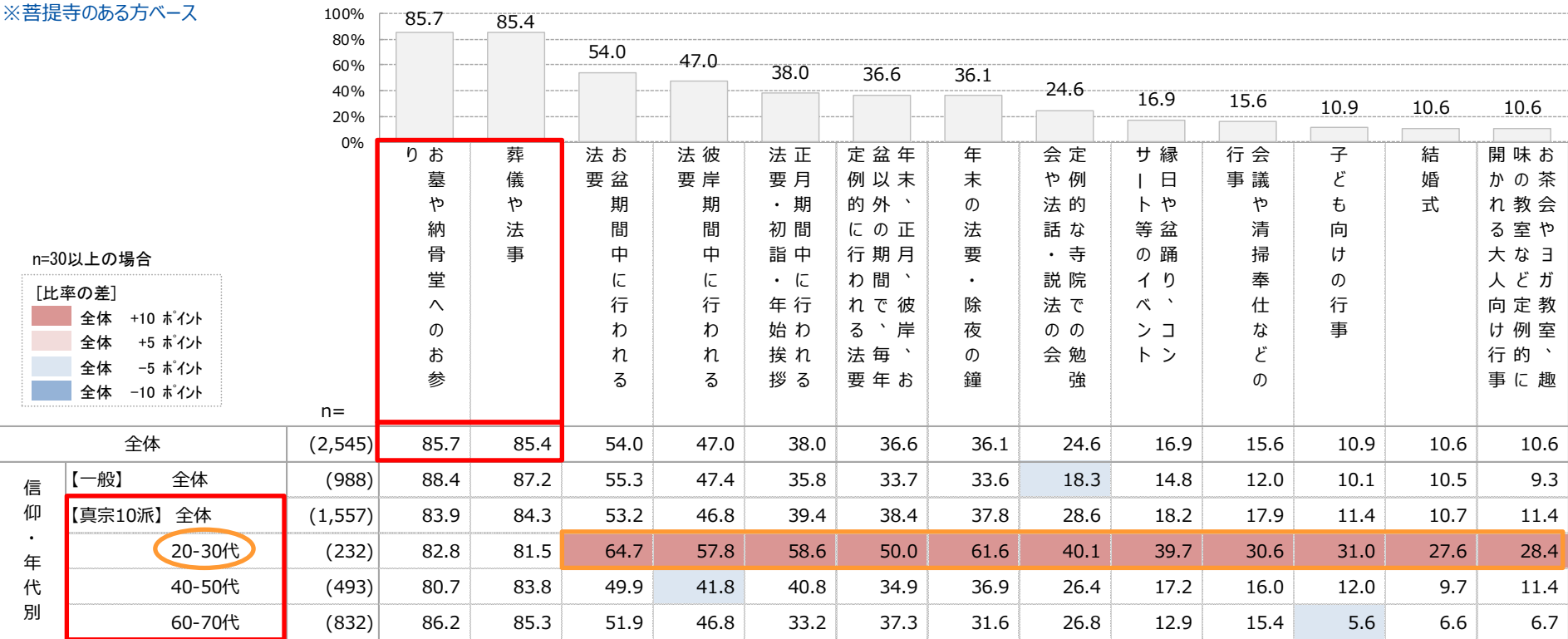


菩提寺への訪問目的は、「お墓や納骨堂へのお参り」、「葬儀や法事」が85%と圧倒的な上位である。
訪問頻度に関しても「お墓や納骨堂へのお参り」2.14回/年と突出して高い。

- 亡き人を縁とした「お盆」や「お彼岸」の法要で菩提寺へ訪問する比率がそれぞれ54%、47%と報恩講（後述）などの定例法要より高い。
- 菩提寺での法要などを始めとして、真宗10派の20-30代の菩提寺への訪問率は他の年代と比較して全般的に高い。

Q15：菩提寺への訪問率/訪問頻度

※菩提寺のある方ベース



全体		-	2.03	0.53	0.80	1.01	0.81	0.87	0.71	0.83	0.70	0.90	0.84	0.51	0.90
別信仰	【一般】	-	1.86	0.44	0.74	0.91	0.70	0.76	0.59	0.80	0.63	0.85	0.70	0.38	0.74
	【真宗10派】	-	2.14	0.58	0.84	1.08	0.88	0.93	0.78	0.84	0.74	0.92	0.91	0.58	0.98

菩提寺での僧侶との関わり

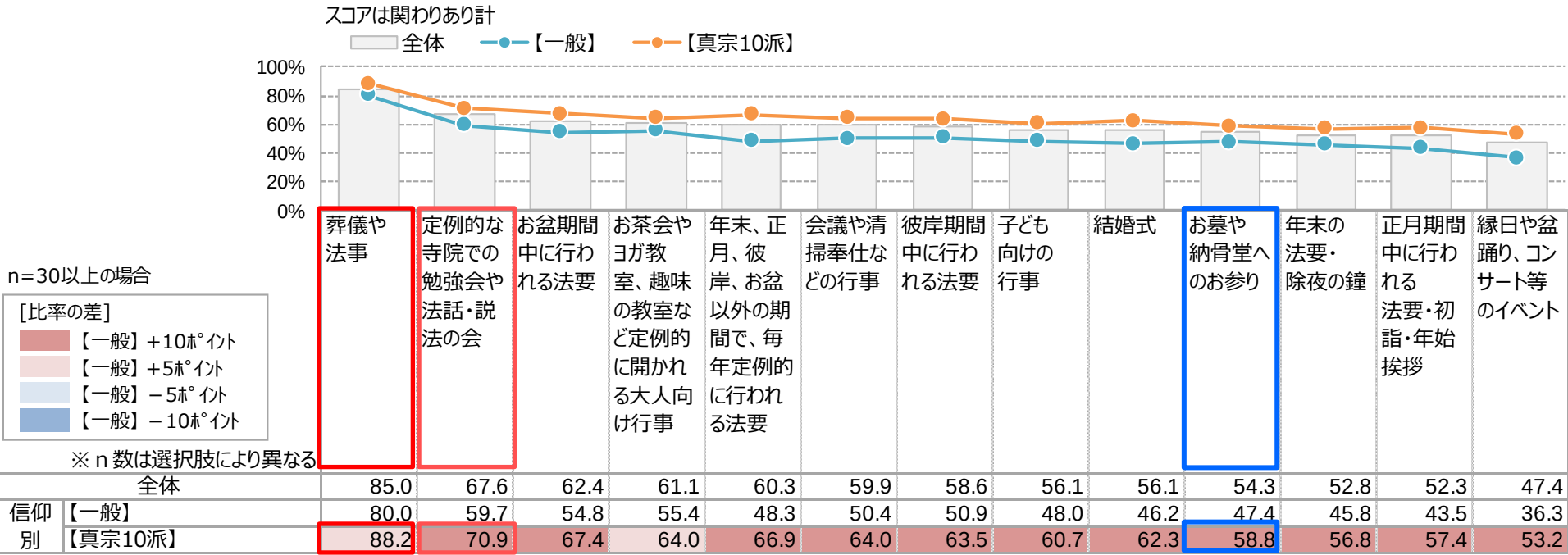


真宗10派では訪問率の高い「葬儀や法事」では「僧侶との関わりがある」比率は88%と高い。
一方で、一番訪問頻度の高い「お墓や納骨堂へのお参り」では「僧侶との関わりがある」比率が58%と低下している。

■ 真宗10派は一般に比べて「僧侶との関わりがある」比率が全般的に高いものの、真宗10派においても葬儀や法事以外での僧侶の存在感が薄れてきている可能性が想定される。

Q17：菩提寺での僧侶との関わり

※菩提寺のある方かつ各目的の訪問者ベース【複数回答】



※「全体」スコアで降順ソート

菩提寺での僧侶との関わり【データ資料編】



Q17 菩提寺(もしくは定期的に訪問する寺院)への訪問状況についてお答えください。訪問時の「僧侶」との関わりとして、あてはまるものを全てお選びください。
(同一の目的で複数回訪問されたことがある場合は、直近の訪問時に該当するものをお選びください) (それぞれいくつでも) ※表示されている項目についてお答えください。

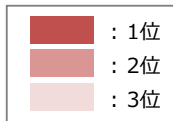
MA

※菩提寺のある方かつ各目的の訪問者ベース

【真宗10派】全体

※真宗10派 菩提寺のある方かつ各目的の訪問者ベース
【複数回答】

n=30以上の場合



※真宗10派 菩提寺のある方が回答時の訪問者ベース

【複数回答】

n=30以上の場合

: 1位

: 2位

: 3位

	n=	仏 教 の 話 を 聞 い た 寺 院	仏 教 の 教 え を う け た	お 経 を 聞 い た	お 経 を 一 緒 に 読 んだ	個 人 的 な 悩 み を 相 談 し た	雑 談 を 交 わ し た	会 話 な ど を し た	打 合 せ や 事 務 的 な 交 渉	そ の 他	会 話 は な し た が な か つ た	僧 侶 は 見 か け な か つ た	僧 侶 は 見 か け な か つ た	関 わ り あ り 計	(%)
お墓や納骨堂へのお参り	(1,307)	15.0	4.0	36.3	15.8	1.6	20.7	3.6	0.5	8.3	3.4	29.5	58.8		
葬儀や法事	(1,312)	29.6	7.2	67.8	29.6	1.8	26.4	8.8	0.5	3.7	2.7	5.4	88.2		
年末の法要・除夜の鐘	(588)	14.5	6.8	27.7	12.6	3.1	16.2	2.2	1.2	10.2	8.0	25.0	56.8		
正月期間中に行われる法要・初詣・年始挨拶	(613)	12.9	6.7	28.9	14.0	2.9	17.8	2.6	1.0	7.7	8.0	26.9	57.4		
彼岸期間中に行われる法要	(729)	17.7	7.3	38.7	19.5	3.0	16.2	2.7	1.1	7.8	4.8	23.9	63.5		
お盆期間中に行われる法要	(828)	17.9	6.2	44.8	17.3	2.3	18.8	2.3	0.5	7.7	4.3	20.5	67.4		
年末、正月、彼岸、お盆以外の期間で、毎年定例的に行われる法要	(598)	20.7	7.5	40.1	20.7	2.5	17.7	3.2	0.5	7.5	4.7	20.9	66.9		
定例的な寺院での勉強会や法話・説法の会	(446)	28.7	13.2	31.8	21.3	4.0	17.0	4.5	1.1	6.5	4.0	18.6	70.9		
縁日や盆踊り、コンサート等のイベント	(284)	12.0	8.1	15.8	7.4	4.6	19.7	2.1	1.8	7.4	7.7	31.7	53.2		
お茶会やヨガ教室、趣味の教室など定例的に開かれる大人向け行事	(178)	15.2	11.2	16.3	15.7	6.7	18.5	5.1	2.2	5.1	6.7	24.2	64.0		
子ども向けの行事	(178)	16.3	13.5	17.4	12.9	8.4	17.4	3.4	0.6	9.6	9.6	20.2	60.7		
結婚式	(167)	15.6	14.4	19.8	10.2	8.4	22.8	4.8	1.2	4.8	6.6	26.3	62.3		
会議や清掃奉仕などの行事	(278)	11.2	13.3	12.6	7.9	5.8	32.4	10.8	1.4	11.2	5.8	19.1	64.0		



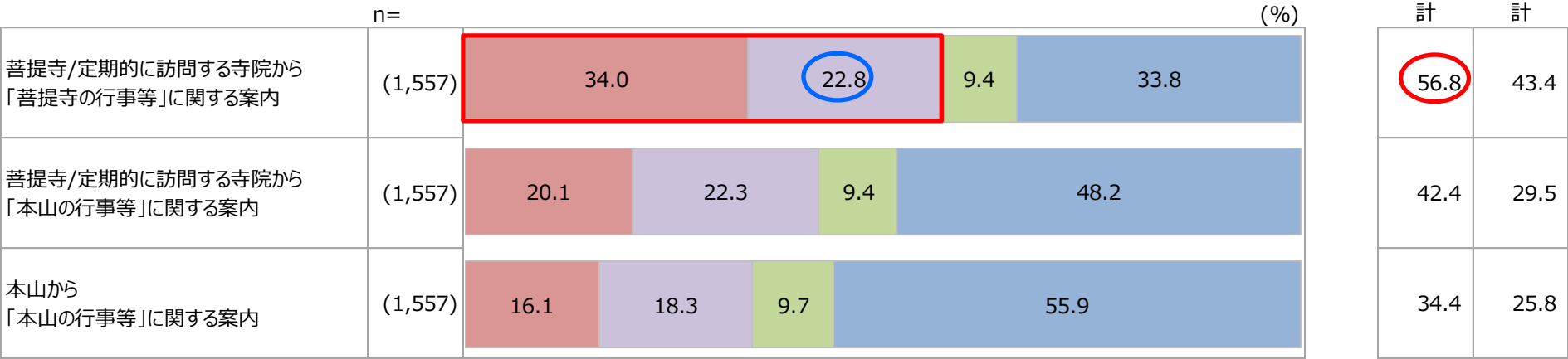
寺院からの連絡は、『菩提寺から「菩提寺の行事等」に関する案内』が最も多いが、連絡を受けている比率は56%に留まる。

- 現在、菩提寺から「菩提寺の行事等」に関する案内を受けていても、「今後はなくてもよい」比率も22%存在する。
- 菩提寺、本山を問わず「現在案内や連絡を受けていないが、できれば希望したい」との比率も9%存在している。

Q18：菩提寺、本山からの連絡有無（真宗10派）

※真宗10派、菩提寺あり

- 現在案内や連絡を受けており、今後も希望する
- 現在案内や連絡を受けているが、今後はなくてもよい
- 現在案内や連絡を受けていないが、できれば希望したい
- 現在案内や連絡を受けておらず、今後も希望しない



※連絡を受けている計（「現在案内や連絡を受けており、今後も希望する」+「現在案内や連絡を受けているが、今後はなくてもよい」）
※連絡を希望する計（「現在案内や連絡を受けており、今後も希望する」+「現在案内や連絡を受けていないが、出来れば希望したい」）

菩提寺・本山からの情報提供と菩提寺満足度

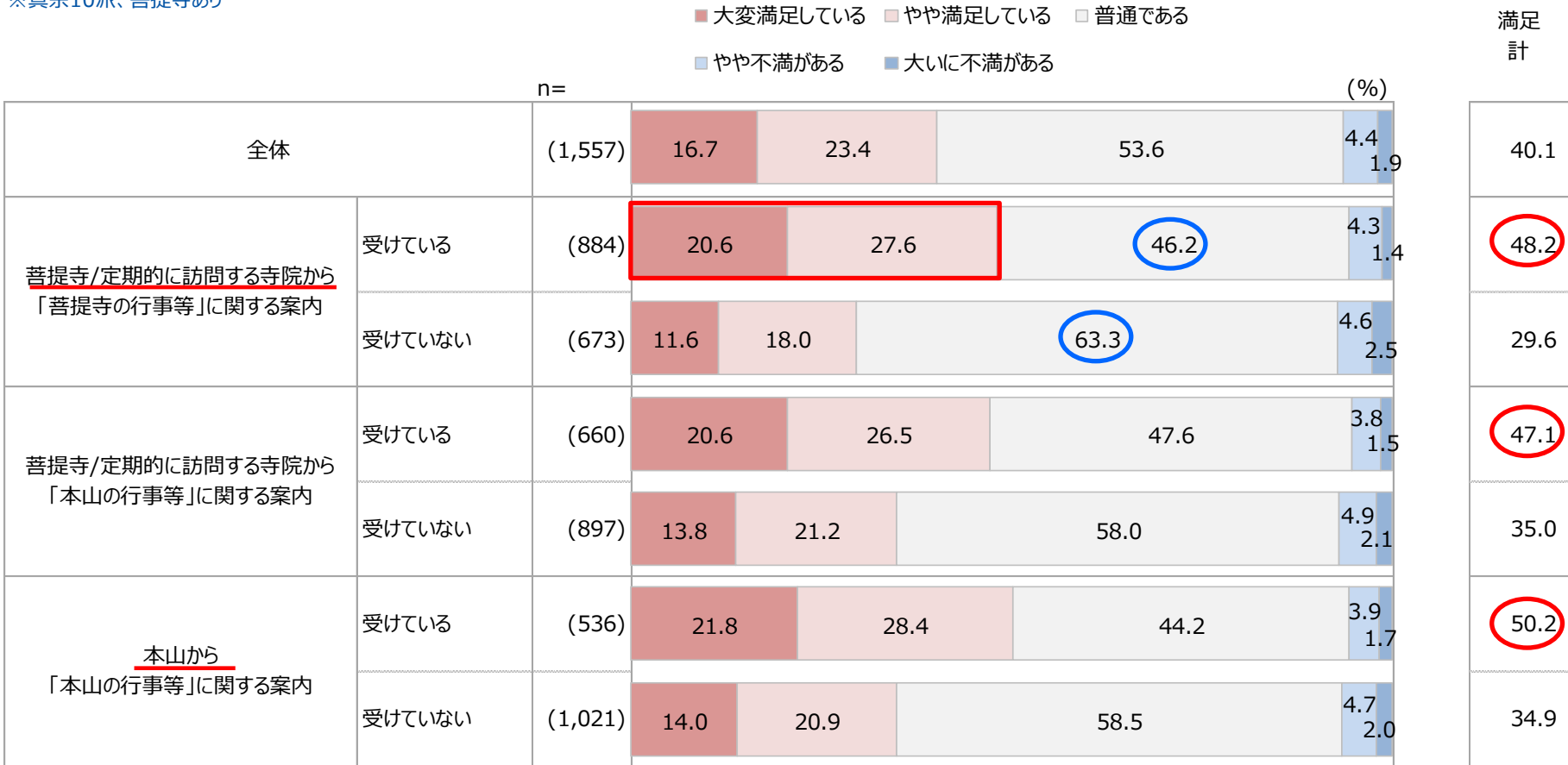


菩提寺から連絡を受けていると「菩提寺の満足度」が高い傾向にある。

- 菩提寺からの「菩提寺の行事等」案内の有無で「大変満足している」比率に格差が生じている。本山から「本山行事等」案内の有無も同様の傾向である。
- 菩提寺からの情報提供により「普通である」から「やや満足している」「大変満足している」に満足度が向上することが読み取れる。

Q18：菩提寺、本山からの連絡有無（真宗10派）

※真宗10派、菩提寺あり



※菩提寺に満足計（「大変満足している」+「やや満足している」）

菩提寺・本山からの希望連絡方法

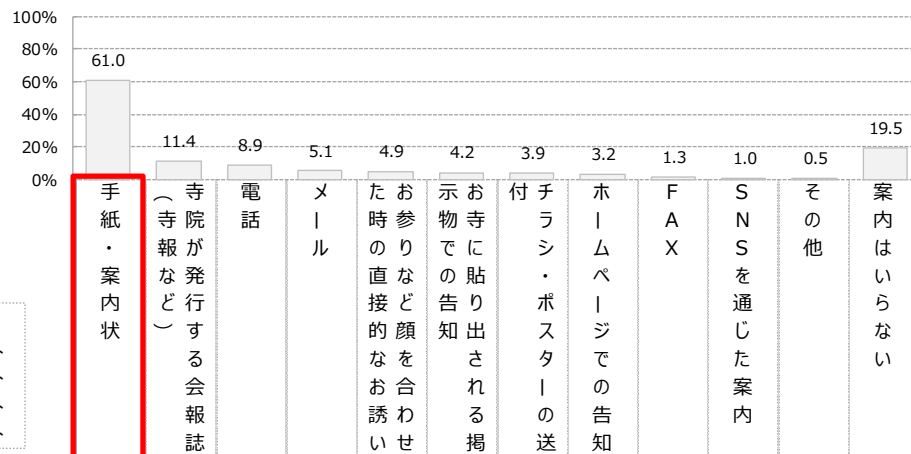


菩提寺・本山からの連絡方法は「手紙・案内状」が突出している。

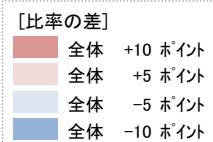
■ 男性20代、30代の電話での連絡が比較的高い。また本山からの案内では20代のホームページでの告知を希望する比率が比較的高い。

Q19：定期的に訪問する寺院からの案内

※真宗10派、菩提寺あり【複数回答】



n=30以上の場合



n=

【真宗10派】全体		(1,557)	61.0	11.4	8.9	5.1	4.9	4.2	3.9	3.2	1.3	1.0	0.5	19.5
信仰・年代別	男性 全体	(840)	58.1	10.0	11.2	6.5	5.6	4.3	4.8	2.5	2.1	1.1	0.4	19.0
	20代	(48)	35.4	20.8	22.9	8.3	12.5	10.4	18.8	6.3	18.8	4.2	0.0	12.5
	30代	(97)	51.5	7.2	22.7	11.3	9.3	5.2	9.3	7.2	4.1	3.1	0.0	19.6
	40代	(113)	60.2	7.1	12.4	8.8	3.5	4.4	4.4	1.8	0.0	1.8	0.0	23.0
	50代	(159)	54.1	8.2	8.8	6.3	6.3	3.1	3.8	3.1	0.6	1.3	1.3	20.8
	60代	(227)	64.3	10.6	8.4	4.8	4.0	4.0	3.5	1.3	0.4	0.0	0.4	16.7
	70代	(196)	61.7	11.2	7.1	4.6	4.6	3.6	1.5	0.5	1.5	0.0	0.0	19.4
	女性 全体	(717)	64.4	13.1	6.1	3.5	4.0	4.2	2.9	4.0	0.4	0.8	0.7	19.9
	20代	(33)	51.5	9.1	6.1	9.1	0.0	6.1	6.1	12.1	0.0	9.1	0.0	24.2
	30代	(54)	61.1	13.0	9.3	5.6	7.4	11.1	9.3	5.6	3.7	3.7	1.9	16.7
	40代	(98)	67.3	6.1	6.1	5.1	2.0	3.1	5.1	6.1	0.0	0.0	0.0	21.4
	50代	(123)	63.4	16.3	8.1	1.6	4.9	2.4	0.0	4.1	0.0	0.0	0.8	17.9
	60代	(193)	67.4	11.4	7.3	3.1	3.6	3.1	2.1	3.6	0.5	0.0	0.0	17.6
	70代	(216)	63.9	16.7	3.2	2.8	4.6	4.6	2.3	1.9	0.0	0.5	1.4	22.7

Q19：本山からの案内

※真宗10派、菩提寺あり【複数回答】

40.7												40.3	
手紙・案内状	寺院が発行する会報誌 (寺報など)	メール	ホームページでの告知	示物での告知	お寺に貼り出される掲	電話	付	チラシ・ポスターの送	た参りなど顔をお誘い	SNSを通じた案内	その他	FAX	案内は知らない
40.7	10.5	4.2	4.0	3.5	3.5	2.2	2.2	1.3	0.7	0.4	40.3		
40.7	9.2	5.1	3.5	3.5	5.0	2.3	2.9	1.3	0.8	0.7	38.6		
37.5	16.7	6.3	12.5	8.3	16.7	10.4	8.3	4.2	0.0	4.2	16.7		
46.4	8.2	11.3	6.2	6.2	12.4	4.1	3.1	3.1	0.0	2.1	27.8		
46.9	6.2	7.1	1.8	5.3	6.2	2.7	2.7	2.7	0.0	0.9	35.4		
39.0	9.4	5.0	4.4	2.5	4.4	1.9	3.1	1.9	1.3	0.0	39.6		
42.7	7.9	4.0	2.2	2.2	1.3	1.3	2.2	0.0	1.8	0.0	40.1		
34.2	10.7	2.0	1.5	2.0	2.6	0.5	2.0	0.0	0.5	0.5	48.5		
40.6	12.0	3.2	4.7	3.6	1.7	2.2	1.5	1.3	0.6	0.1	42.3		
39.4	6.1	9.1	15.2	3.0	6.1	3.0	0.0	9.1	0.0	0.0	30.3		
40.7	9.3	7.4	13.0	1.9	3.7	9.3	1.9	9.3	1.9	0.0	33.3		
59.2	6.1	5.1	6.1	1.0	0.0	3.1	1.0	0.0	0.0	0.0	35.7		
40.7	17.9	1.6	3.3	4.1	2.4	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	35.8		
39.9	11.9	2.6	3.6	5.2	1.6	0.5	1.6	0.0	0.5	0.5	43.5		
32.9	13.0	1.9	2.3	3.7	0.9	2.8	1.9	0.5	0.9	0.0	51.9		

菩提寺との距離と「菩提寺との関わり/菩提寺満足度」

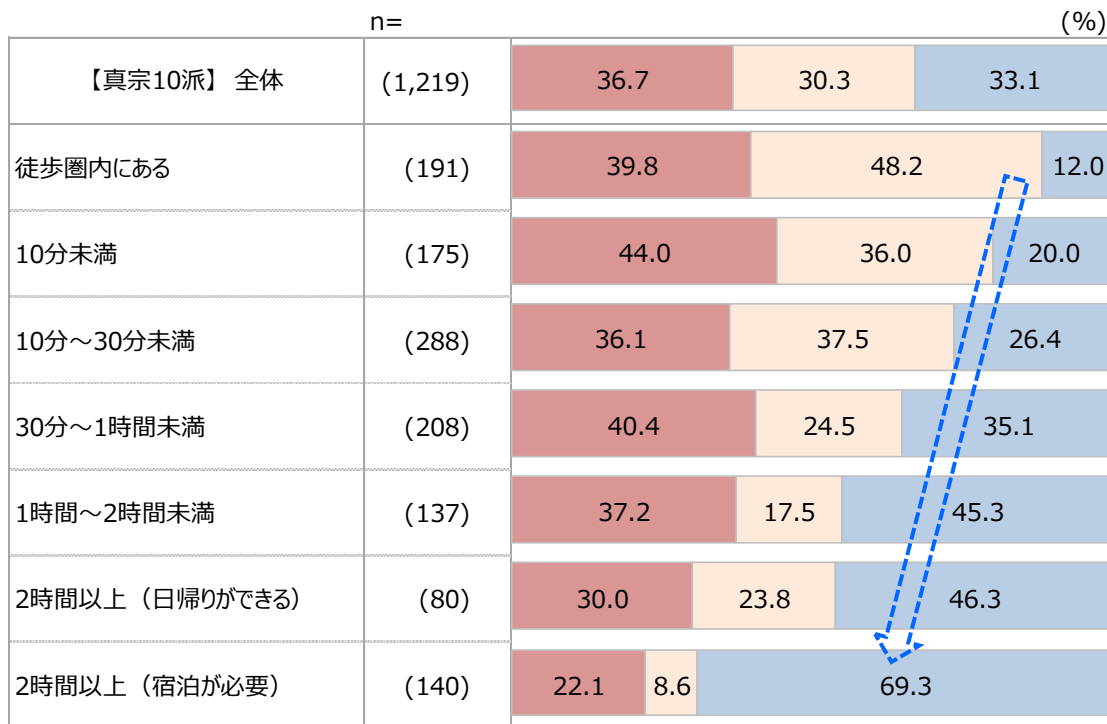
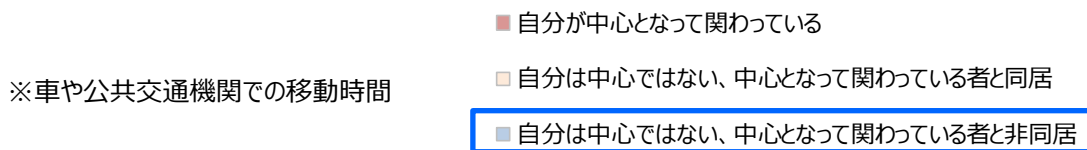


菩提寺までの移動時間が大きくなると、「菩提寺との関わり」は薄れ、「菩提寺満足度」は低下する傾向にある（相関性高い）。

- 菩提寺と門徒の距離が離れると中心となる人の比率が低下し、特に「宿泊が必要な距離」では「中心となっている者との非同居比率」が格段に高まる。
- 菩提寺満足度は、「菩提寺までの移動時間が1時間」を超えると大きく低下する。菩提寺から距離が離れる事は満足度が下がる一つの要素と考えられる。

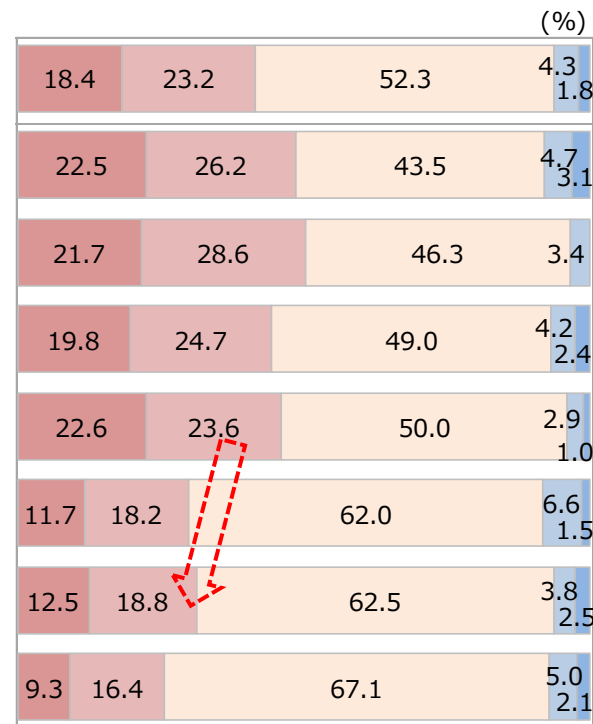
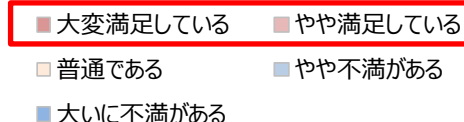
Q13×Q12：菩提寺までの移動時間と菩提寺との関わり

※真宗10派、菩提寺あり



Q13×Q14：菩提寺までの移動時間と菩提寺満足度

※真宗10派、菩提寺あり



菩提寺との距離と「宗教関心度/信仰心」



真宗10派信仰者は、菩提寺までの移動時間が広がっても、宗教への「関心」・「信仰心」は変わらない傾向がある（相関性低い）。

- 菩提寺までの「距離が離れること」と「宗教への関心と信仰心」は相関性が低いことが分かる。「宗教への関心と信仰心」の向上・低下は菩提寺との距離以外の他の要素に起因するところが大いにか、菩提寺が距離の近さを活かしてきれていないことが考えられる。

Q13×Q1：菩提寺までの移動時間と宗教関心度

※真宗10派、菩提寺あり

※車や公共交通機関での移動時間

■ とても関心がある ■ まあ関心がある
■ どちらともいえない ■ あまり関心がない
■ 全く関心がない

	n=	(%)				
【真宗10派】全体	(1,219)	7.1	33.8	28.9	23.1	7.1
徒歩圏内にある	(191)	9.9	31.9	29.8	23.6	4.7
10分未満	(175)	8.6	32.6	24.6	25.1	9.1
10分～30分未満	(288)	6.6	32.3	28.5	25.7	6.9
30分～1時間未満	(208)	6.7	35.1	30.3	18.8	9.1
1時間～2時間未満	(137)	4.4	29.9	28.5	30.7	6.6
2時間以上（日帰りができる）	(80)	7.5	35.0	38.8	13.8	5.0
2時間以上（宿泊が必要）	(140)	5.7	42.1	26.4	19.3	6.4

Q13×Q2：菩提寺までの移動時間と信仰心

※真宗10派、菩提寺あり

■ 非常に信仰があつい方だと思う
■ 信仰があつい方と思う
■ どちらかといえば信仰があつい方と思う
■ 信仰があつくない方だと思う

	(%)		
	3.0 10.0	34.6	52.3
	3.7 9.4	33.5	53.4
	3.4 13.7	33.1	49.7
	2.8 10.4	33.0	53.8
	1.4 10.1	36.1	52.4
	2.9 7.3	36.5	53.3
	5.0 8.8	35.0	51.3
	3.6 8.6	37.1	50.7





データから 見える ポイント

- ✓ 菩提寺（定期的に訪問する寺院含む）の満足度に関して、「満足している」と回答する比率は40.1%に留まる一方で「普通である」は53.6%であり、「不満である」が6.3%とわずかな比率であることから、そもそも菩提寺への潜在的な期待度は高くないことが想定される。
- ✓ 最も訪問率が高い「お墓や納骨堂へのお参り」が、寺院や僧侶との接点になり得ていない。また、最も僧侶と接点が高いのは「葬儀や法事」であるが、そもそも執行頻度自体が低い。
- ✓ 菩提寺や本山からの希望する連絡方法は、手紙や案内状が突出して高い。ただし、「今後はなくてもよい」との回答も多くみられる。
- ✓ 菩提寺と門徒との時間的な距離が離れると菩提寺への満足度が低下する。

考えられる 要因

- ✓ 寺院と接点を持つ人々の多くは『つかず離れず』の距離を保っているように考えられる。
- ✓ 菩提寺は情報提供を行っているが、門徒が求めている情報が少ない可能性がある。手紙や案内状での連絡を希望するのは、その他の連絡手段になじみがないことも要因として考えられる。
- ✓ 寺院側の働きかけ（アプローチ）と受け手である門徒側の動向や希望（ニーズ）にズレが生じている可能性がある。結果的に、接点を持つ機会を逃してしまっていることが考えられる。

方向性

- ✓ 関係性の希薄化を防ぐために、以下の2の施策が必要と考える。
 - ①別院などを活用し、地域を拠点とした、門徒との関係強化の施策
 - ②菩提寺と中心となってかかわっている者と同じくしていない人とも関係性を切らない工夫



3. お墓参りと先祖供養



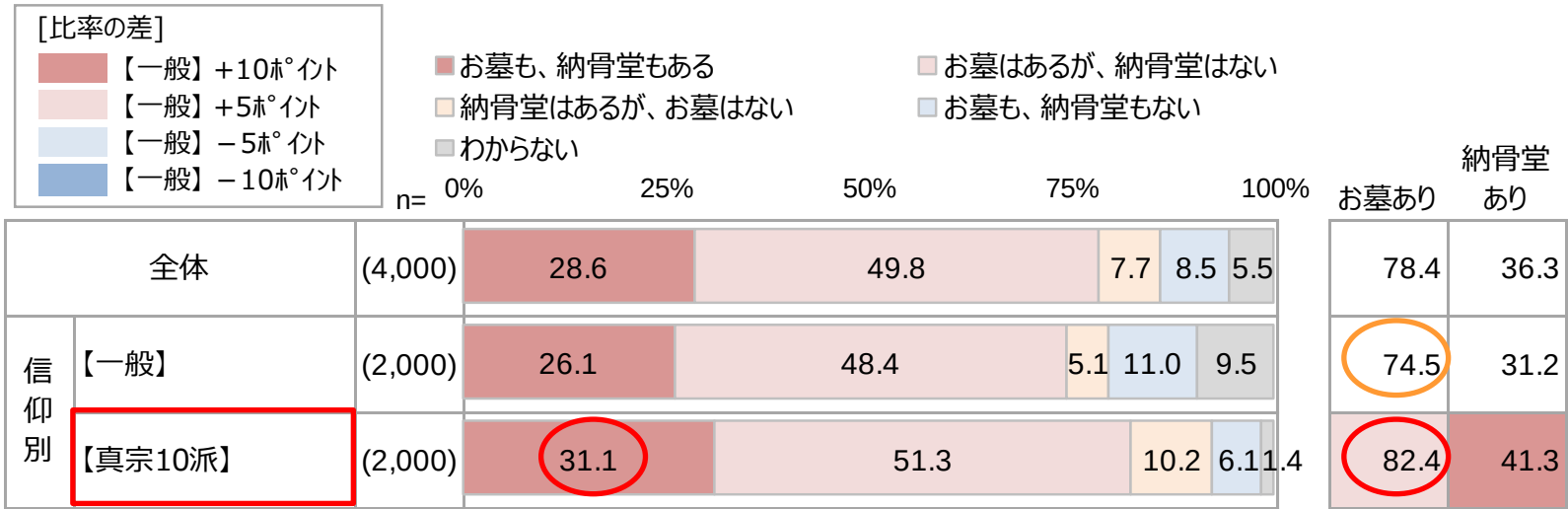
「お墓がある人」は真宗10派で82%。「お墓も、納骨堂もある」も31%に達する。

■ 一般もお墓がある比率は高く74%であり、大半の人が先祖や親など家系のお墓があることがわかる。

Q3 : お墓、納骨堂の有無

※全員ベース

n=30以上の場合



※お墓あり(「お墓も、納骨堂もある」+「お墓はあるが、納骨堂はない」)
※納骨堂あり(「お墓も、納骨堂もある」+「納骨堂はあるが、お墓はない」)

お墓参りする時期



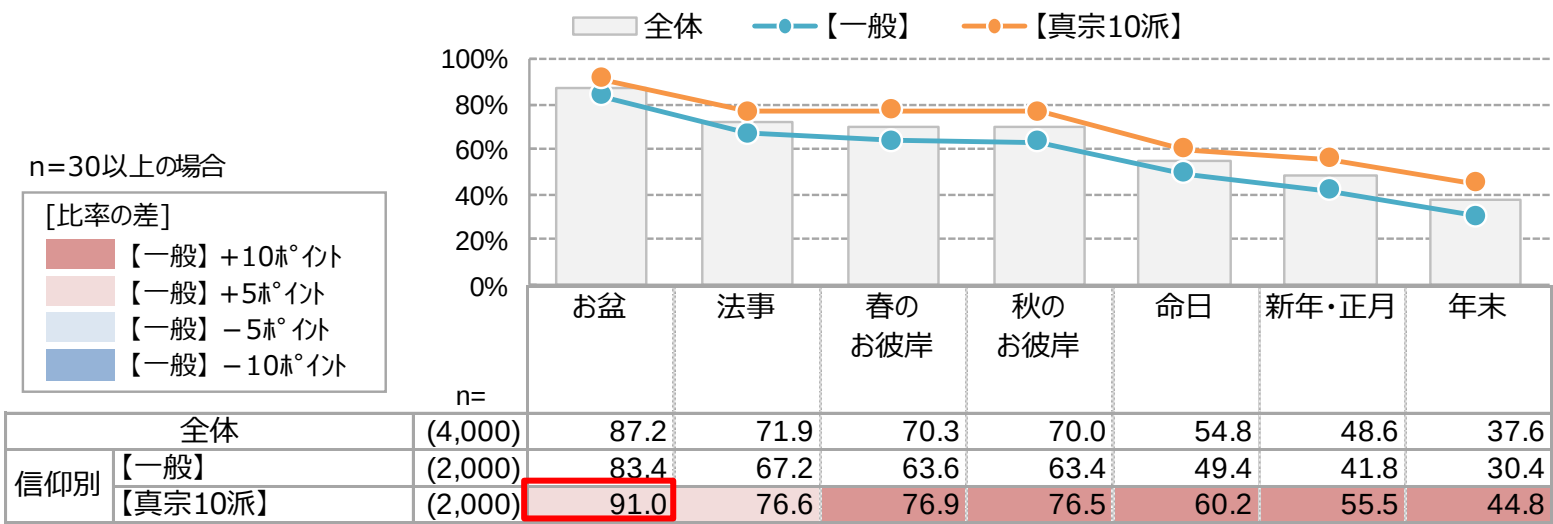
お墓、納骨堂へお参りする時期は、「お盆」「法事」「お彼岸(春/秋)」が上位。

■ 真宗10派のお墓参りの時期は「お盆」が91%と最も高い。お寺・僧侶が門徒との接点を持てる最大の時期と想定される。

Q4：お墓、納骨堂への訪問率/訪問頻度

※全員ベース

スコアはお参りあり計：「毎年2回以上の頻度」～「それ以下の頻度」



スコアは訪問回数/年 ※ n 数は選択肢により異なる

	全体	-	0.87	0.41	0.81	0.78	0.70	0.89	0.77
信仰別	【一般】	-	0.80	0.34	0.76	0.73	0.64	0.82	0.72
	【真宗10派】	-	0.93	0.46	0.85	0.82	0.75	0.95	0.81

※「お参りあり計 全体」で降順ソート

お墓参りの理由と必要なもの

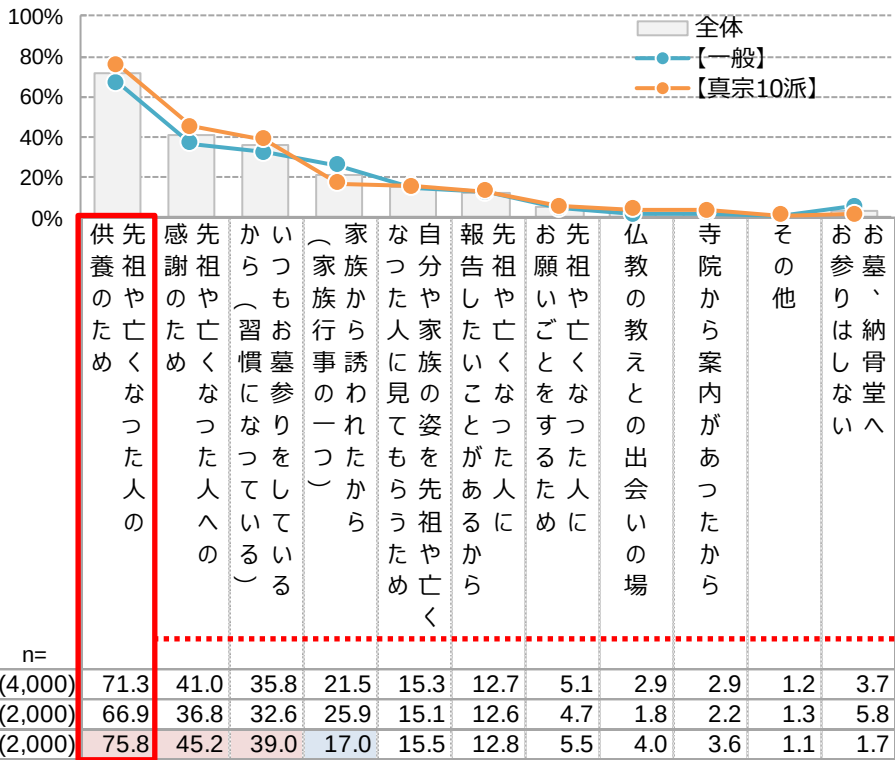


お墓、納骨堂への訪問理由は、「先祖や亡くなった人の供養のため」が最も高く、「先祖や亡くなった人への感謝のため」が続く。訪問に必要なものにおいて「僧侶による読経」が低いことに鑑みると、僧侶不在のお墓参りの構図が浮かび上がる。

- お墓、納骨堂への訪問理由で、「家族から誘われたから（家族行事の一つ）」という受動的な理由は真宗10派では一般より低い数値となっている。
- お墓、納骨堂への訪問に必要なものは、「お参りする人の気持ち」がトップ。僧侶に関するものは上位に挙がらなかった。

Q5：お墓、納骨堂への訪問理由

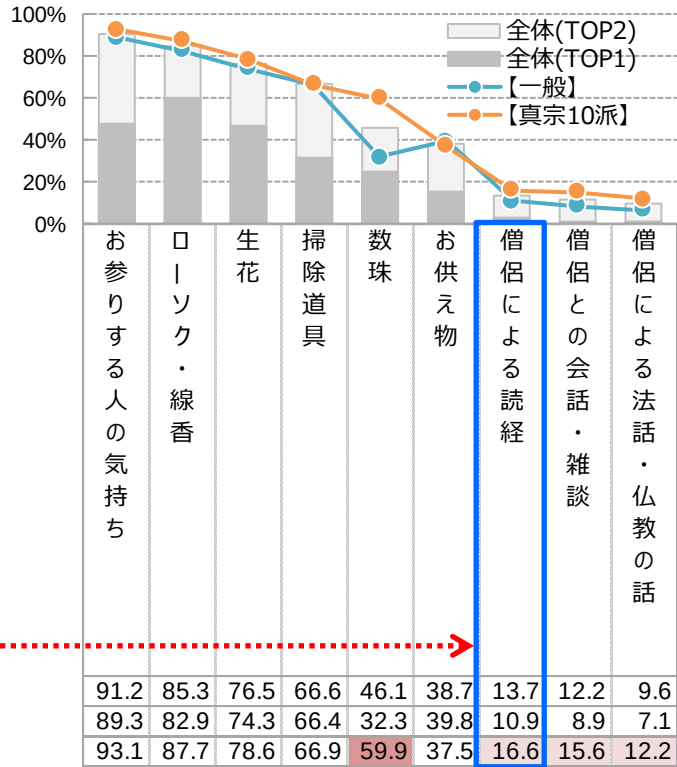
※全員ベース【複数回答】



Q6：お墓、納骨堂への訪問に必要なもの

※全員ベース

表中のスコアはTOP2：「かならず必要」+「まあ必要」



※「全体」スコアで降順ソート

※「全体(TOP2)」スコアで降順ソート

n=30以上の場合

[比率の差]	
【一般】+10ポイント	
【一般】+5ポイント	
【一般】-5ポイント	
【一般】-10ポイント	

n=	
全体	(4,000)
【一般】	(2,000)
【真宗10派】	(2,000)



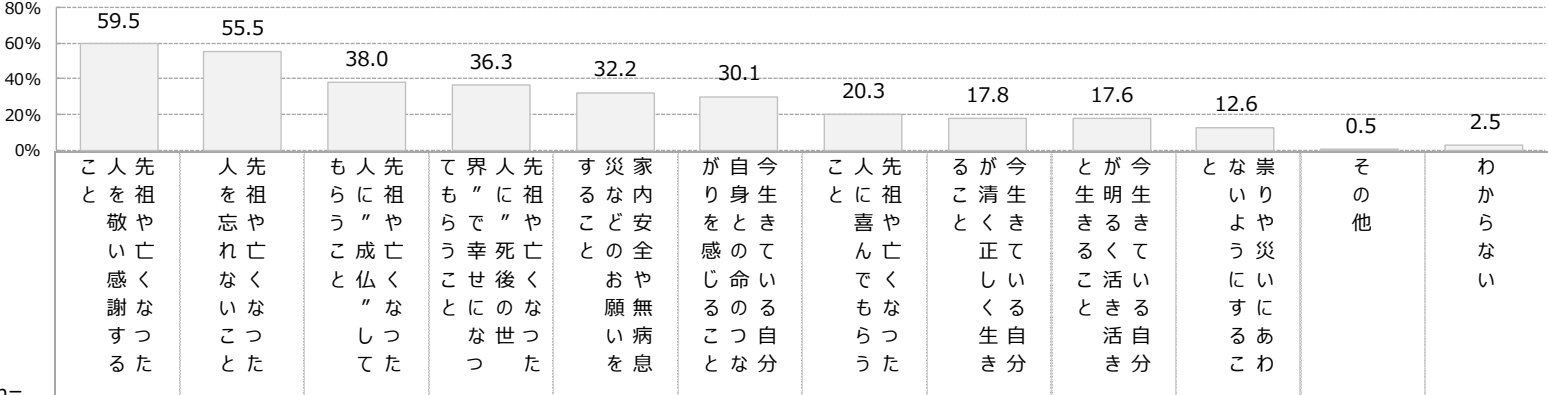
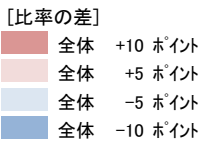
真宗10派では、先祖供養の持つ意味としては、「先祖や亡くなった人を敬い感謝すること」、「先祖や亡くなった人を忘れないこと」が50%以上となっている。

- 20代では男女ともに「先祖や亡くなった人に“死後の世界”で幸せになってもらうこと」が上位となっている。
- 女性（特に30代、70代）は「今生きている自分自身との命のつながりを感じること」の比率が男性よりかなり高い。

Q7：先祖供養の意味

※真宗10派
【複数回答】

n=30以上の場合



n=														
【真宗10派】 全体		(2,000)	59.5	55.5	38.0	36.3	32.2	30.1	20.3	17.8	17.6	12.6	0.5	2.5
性・年代別	男性 全体	(1,095)	57.4	50.2	36.1	35.3	33.0	24.4	18.1	16.2	14.7	12.2	0.5	2.5
	20代	(71)	43.7	38.0	52.1	62.0	25.4	21.1	22.5	23.9	9.9	19.7	0.0	1.4
	30代	(120)	58.3	45.8	43.3	44.2	26.7	20.8	19.2	22.5	17.5	15.0	0.8	1.7
	40代	(152)	57.2	42.1	42.8	39.5	31.6	17.1	24.3	11.2	12.5	16.4	0.7	4.6
	50代	(212)	54.7	47.2	41.0	33.0	29.7	23.1	22.2	15.1	14.2	12.3	0.0	2.8
	60代	(288)	54.5	53.5	31.9	30.9	34.0	24.0	12.2	13.5	13.5	9.7	1.0	2.1
	70代	(252)	66.7	59.5	24.6	28.2	40.5	32.9	15.9	17.9	17.9	9.1	0.4	2.0
	女性 全体	(905)	62.0	61.8	40.3	37.3	31.2	36.9	22.9	19.7	21.0	12.9	0.3	2.5
	20代	(47)	51.1	44.7	53.2	57.4	40.4	25.5	17.0	10.6	8.5	17.0	0.0	4.3
	30代	(79)	63.3	67.1	46.8	51.9	31.6	41.8	24.1	20.3	16.5	19.0	0.0	2.5
	40代	(133)	67.7	65.4	39.1	40.6	25.6	23.3	21.1	13.5	13.5	9.8	0.0	6.0
	50代	(156)	60.9	57.7	48.1	40.4	25.0	33.3	26.3	16.7	19.9	10.9	0.0	2.6
	60代	(241)	60.2	66.0	36.9	32.8	31.5	38.6	22.0	21.2	22.4	14.5	0.4	0.4
	70代	(249)	63.1	59.8	34.9	29.7	35.7	45.4	23.3	24.9	28.1	11.6	0.8	2.4

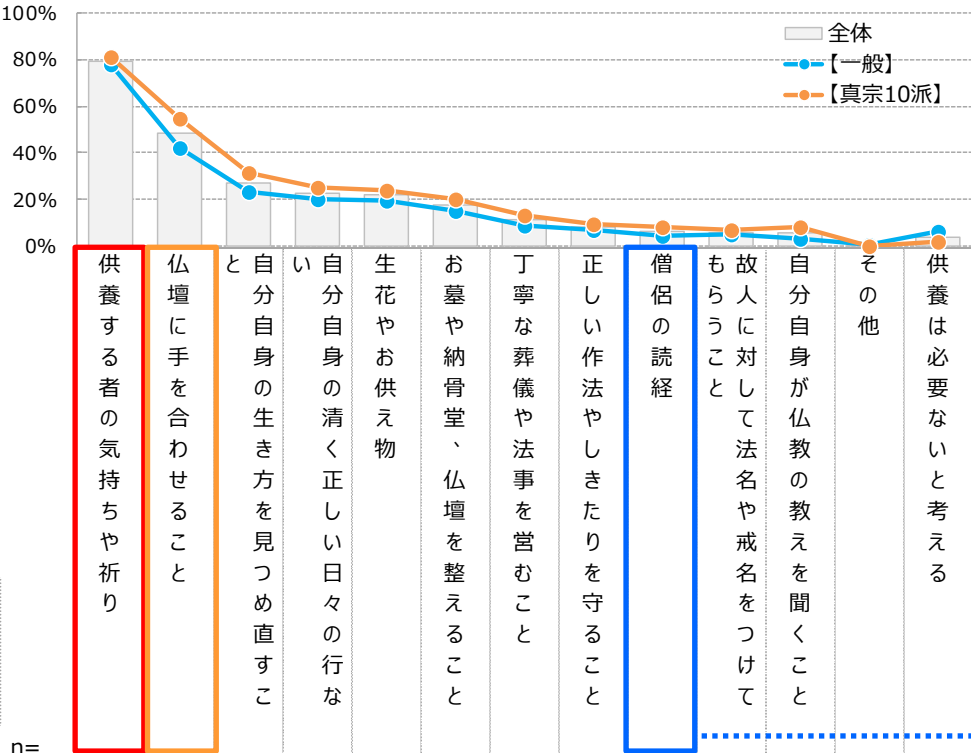


「先祖供養」に必要なものは、真宗10派も一般も「供養する者の気持ちや祈り」が最上位。
「葬儀・法事」の執行で僧侶に望むことは、「お経が丁寧」「僧侶の姿勢が謙虚である」が上位。

■ 「先祖供養」に必要なものに関して、一般と比べ真宗10派では「仏壇に手を合わせること」の比率が高い。また、「葬儀・法事」の執行で僧侶に望むことは、一般と比べ真宗10派では「お経が丁寧」「法話の内容が深く感銘を受ける」「僧侶が気さくで話しやすい」の比率が高い。

Q8：「先祖供養」に必要なもの

※全員ベース【複数回答】



n=30以上の場合

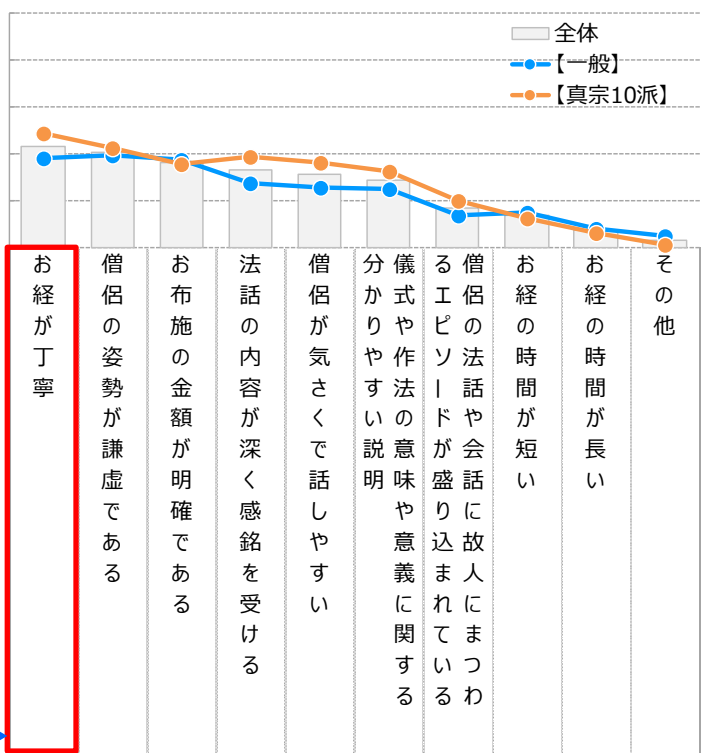
【比率の差】	
全体	+10 ポイント
全体	+5 ポイント
全体	-5 ポイント
全体	-10 ポイント

n=		全体	(4,000)	79.4	48.4	27.3	22.5	21.9	17.7	11.1	8.2	6.3	5.8	5.8	0.3	4.0
信仰	【一般】	(2,000)	77.7	42.0	23.2	20.1	19.7	15.2	8.8	6.9	4.4	5.0	3.5	0.5	6.2	
別	【真宗10派】	(2,000)	81.2	54.8	31.5	24.9	24.1	20.3	13.4	9.6	8.1	6.7	8.1	0.1	1.8	

※「全体」スコアで降順ソート

Q9：「葬儀・法事」の執行で僧侶に望むこと

※全員ベース【複数回答】



全体	(4,000)	43.4	41.0	36.6	33.3	31.1	28.8	17.0	13.9	7.5	3.3
【一般】	(2,000)	38.1	39.3	37.5	27.5	26.0	25.1	13.8	15.1	8.6	5.3
【真宗10派】	(2,000)	48.7	42.8	35.8	39.2	36.2	32.6	20.2	12.8	6.4	1.4

※「全体」スコアで降順ソート



データから 見える ポイント

- ✓ 前回調査で「お墓参り」と「先祖供養」は突出した機会・ニーズであった。今回の調査で「墓参り」と「先祖供養」で、多くの真宗門徒は「亡き人を敬い感謝すること」「忘れないこと」を思い、そのためには「供養する者の気持ちや祈り」「仏壇に手を合せること」「自分自身の生き方を見つめ直すこと」が大切だと考えていることが分かる。
- ✓ 真宗10派の信仰者の91%がお墓参りしているが、「僧侶に会わなかった」が29.5%、「挨拶したが会話はなかった」が8.3%、「僧侶は見かけたが関わりはなかった」が3.4%と門徒との接点機会を逃している状況が想定される。
- ✓ 「先祖供養に必要なこと」では、「僧侶の読経」は8.1%と低い比率であるが、「葬儀・法要で僧侶に望むこと」では「お経が丁寧」の比率が48.7%と高い比率となっている。

考えられる 要因

- ✓ 門徒側としては、「丁寧なお経」を求めている通り、供養する者の気持ちや祈りに寄り添ってもらうこと、その手助けをしてもらうことを求めているが、僧侶との接点を見出すことができない状況が考えられる。
- ✓ 門徒がお墓、菩提寺へ訪問しているという大切な機会を逃していることが考えられる。ただしお盆の時期は住職・僧侶が門徒への訪問で寺院を不在にしていることが多い現状も考慮すべき事象である。

方向性

- ✓ 「お経が丁寧」「姿勢が謙虚」「法話の内容が深く感銘を受ける」ということが求められているため、実際の感情を丁寧に汲み取り、真摯に応える姿勢を持つことが重要と考える。
- ✓ 寺院と門徒（参拝者）の関係強化に僧侶の存在が寄与するとするなら、重要な接点であるお墓参りに際し、門徒が気軽に僧侶やお寺の家族と接することができる仕組みや情報提供が必要と考える。



4. 浄土真宗に関する言葉の認知

【ご参考】浄土真宗についての認知 2017年度調査結果



前回（2017年度）調査にて浄土真宗の言葉の認知度が低いことが判明した。

■ 前は「内容まで知っている」に関して、正しい内容認識であるか否かの調査までは実施しておらず、今回はその点について深く調査を実施した。

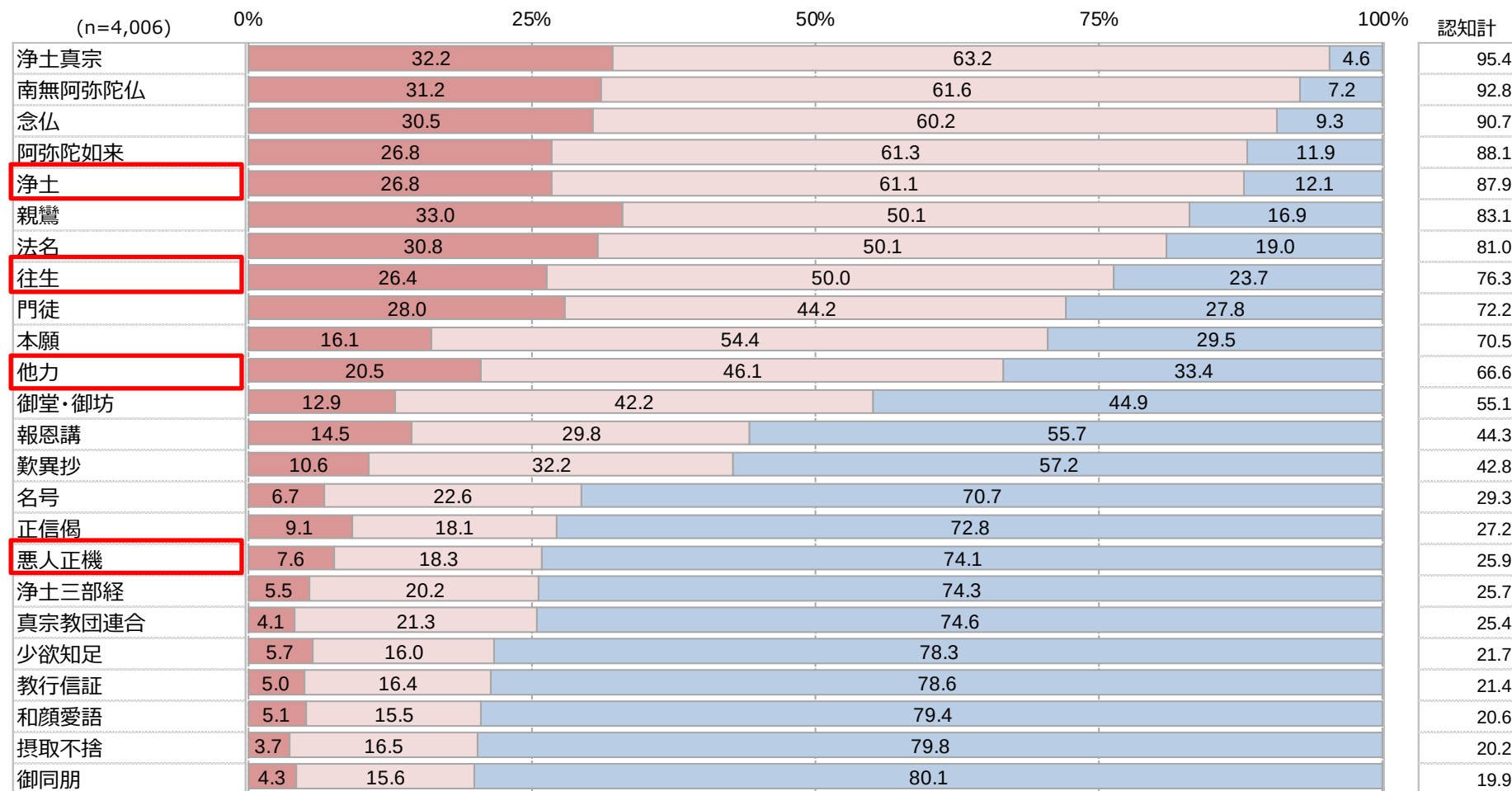
Q14：浄土真宗についての認知(2017年度調査)

※全員ベース

■ 意味や内容まで知っている

■ 名前だけは知っている

■ 名前も内容も知らない



※認知計（「意味や内容まで知っている」+「名前だけは知っている」）

※「認知計」のスコアで降順ソート

「浄土」に対する認識



真宗10派では『「浄土」の意味を知っていた』が65%であるが、『「浄土」に行きたい』比率は84%と高くなる。

■ 真宗10派も一般も『「浄土」に行きたい』比率は『「浄土」の意味を知っていた』比率よりも高い。

Q21：「浄土」に対する認識

※全員ベース

※Aに近い・計（「Aの方に近い」+「ややAの方に近い」）
※Bに近い・計（「ややBの方に近い」+「Bの方に近い」）

【真宗10派】全体

(n=2,000)

【A】	Aに近い・計 (%)				Bに近い・計 (%)				【B】
	Aの方に近い	ややAの方に近い	ややBの方に近い	Bの方に近い	Aの方に近い	ややAの方に近い	ややBの方に近い	Bの方に近い	
「浄土」の意味を知っていた	65.2	23.3	41.9	22.1	12.8	34.9			「浄土」の意味を知らなかった
「浄土」の存在を信じている	57.9	14.0	44.0	30.3	11.8	42.1			「浄土」の存在を信じていない
「浄土」は死後の世界である	71.0	23.4	47.7	22.5	6.5	29.0			「浄土」は現世の理想の世界である
「浄土」と「天国」は同じ場所である	59.7	16.5	43.3	29.6	10.8	40.3			「浄土」と「天国」は違う場所である
「浄土」は自分と関係のある世界である	68.1	15.2	53.0	23.8	8.1	31.9			「浄土」は自分と関係のない世界である
「浄土」に行きたい	84.9	27.8	57.1	10.7	4.5	15.2			「浄土」に行きたくない

【一般】全体

(n=2,000)

【A】	Aに近い・計 (%)				Bに近い・計 (%)				【B】
	Aの方に近い	ややAの方に近い	ややBの方に近い	Bの方に近い	Aの方に近い	ややAの方に近い	ややBの方に近い	Bの方に近い	
「浄土」の意味を知っていた	42.6	13.9	28.7	26.1	31.3	57.4			「浄土」の意味を知らなかった
「浄土」の存在を信じている	39.4	6.9	32.5	32.2	28.5	60.7			「浄土」の存在を信じていない
「浄土」は死後の世界である	65.9	22.5	43.4	21.3	12.9	34.2			「浄土」は現世の理想の世界である
「浄土」と「天国」は同じ場所である	53.1	13.7	39.5	31.0	15.9	46.9			「浄土」と「天国」は違う場所である
「浄土」は自分と関係のある世界である	45.0	8.4	36.7	33.3	21.8	55.0			「浄土」は自分と関係のない世界である
「浄土」に行きたい	69.2	16.1	53.1	18.5	12.4	30.9			「浄土」に行きたくない

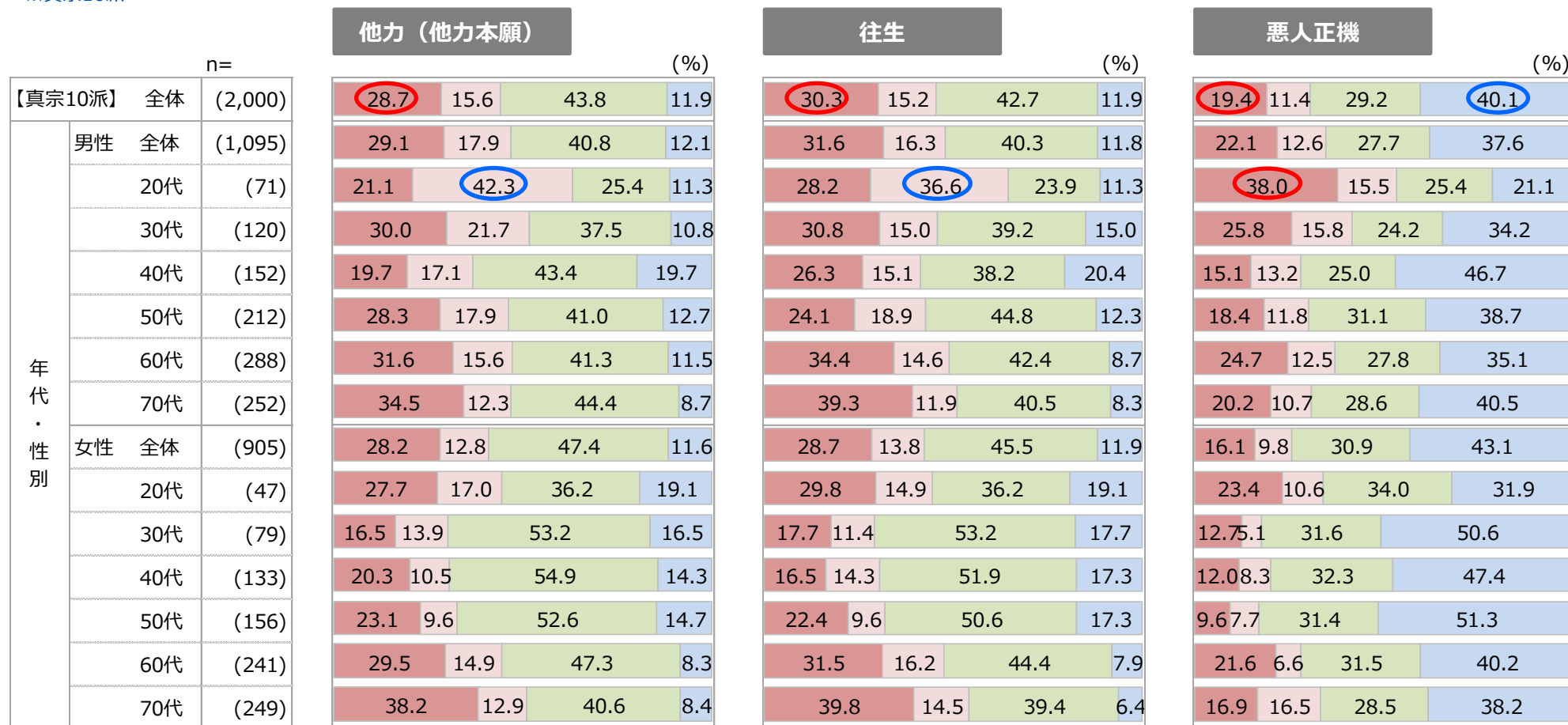


真宗10派においても本来の意味まで理解しているのは「他力（他力本願）」28%、「往生」30%、「悪人正機」19%と低い状況。特に「悪人正機」に関しては40%が「この言葉を知らない」と回答している。

- 男性20代では他の年代と異なる点が見られる。「他力（他力本願）」、「往生」は「本来の意味を知っているつもりでいたが、違っていた」比率が突出して高く、「悪人正機」では「本来の意味を知っていた（正しく）」の比率が高い。

Q22：浄土真宗の言葉の認知

※真宗10派



- 本来の意味を知っていた
- 本来の意味を知っているつもりでいたが、違っていた
- 本来の意味は知らなかったが、言葉だけは知っていた
- この言葉を知らない

認知経路による認識率の格差



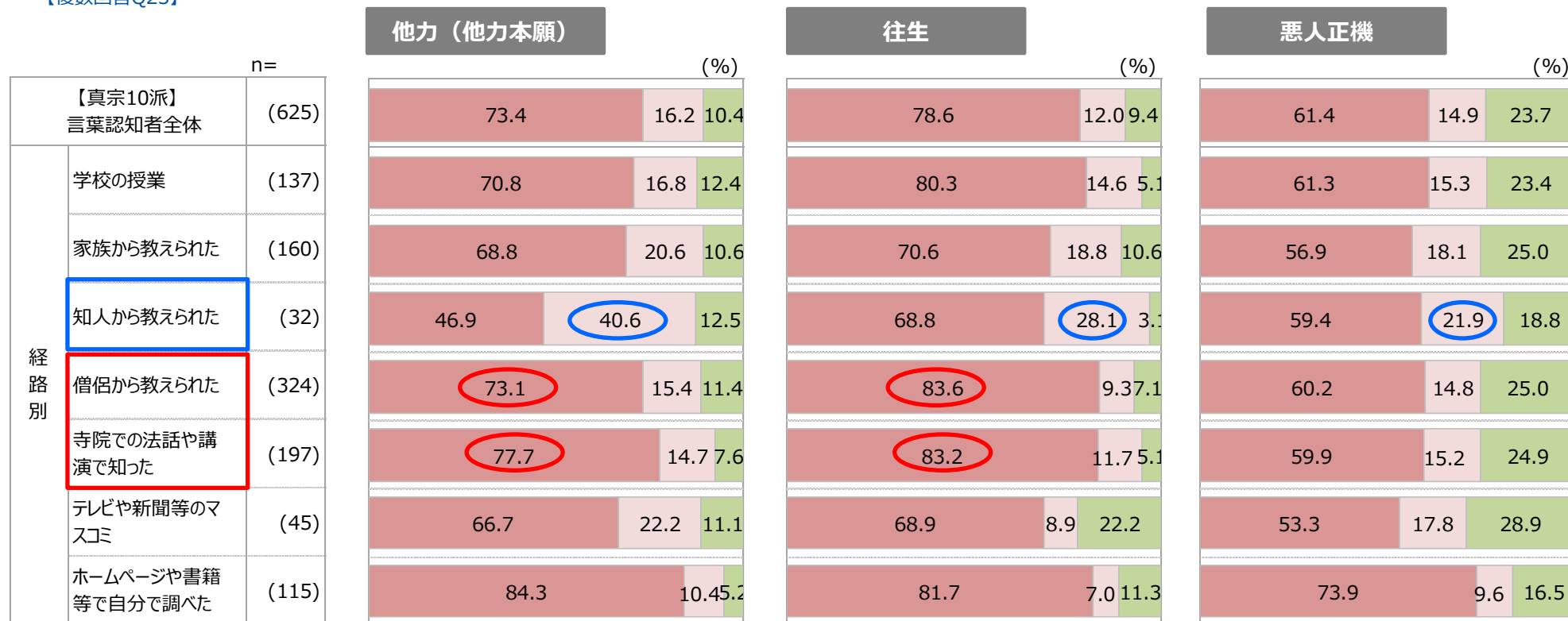
「言葉を知っている人」を対象にして、言葉を教えられた経路と正しく認識しているか調べてみると、
「知人から教えられた」場合、誤った意味で認識していた比率が高い。特に「他力（他力本願）」では40%が誤った意味で認識。

- 「僧侶から教えられた」、「寺院での法話や講演で知った」など僧侶が関与して教えられた場合、「正しく理解（本来の意味を知っていた）」比率が他から教えられた場合より高い。
- 僧侶が言葉を教えて、さらに自身でホームページや書籍で調べるように促すと、言葉を正しく認識比率が向上することが想定される。

Q22×Q23：経路による認知格差

※真宗10派、「他力（他力本願）」「往生」「悪人正機」の設問で「言葉を聞いたことがない人」回答者を除く
【複数回答Q23】

- 本来の意味を知っていた
- 本来の意味を知っているつもりでいたが、違っていた
- 本来の意味は知らなかったが、言葉だけは知っていた





データから 見える ポイント

- ✓ 真宗10派も一般も『「浄土」に行きたい』気持ちは強い。真宗10派においても『「浄土」の存在を信じている』比率が57.9%であるが、『「浄土」に行きたい』比率は84.9%と逆説的な状況がみられる。
- ✓ 「他力（他力本願）」「往生」「悪人正機」の言葉に関して「本来の意味を知っていた」の比率は男性40代が19.7%、女性30代が16.5%と他年代と比較して低い。
- ✓ 知人から「他力（他力本願）」「往生」「悪人正機」の言葉を教えられた人で内容を誤って認識していた比率は、それぞれ40.6%、28.1%、21.9%と他の認知経路より比率が高い。

考えられる 要因

- ✓ 「僧侶から聞く」や「学校で学ぶ」など、言葉の意味まで教えてもらえる機会が減少していることが考えられる。
- ✓ 「浄土」という言葉は、本来の意味が理解できていなくても、何となくのイメージは持っていると考えられる。
- ✓ 近年はインターネットなどで手軽に本来の意味を調べることができるため、自ら意欲的に調べる人の正しい認識率が高まっていることが考えられる。

方向性

- ✓ 僧侶が言葉を認識させると同時に、自身で調べることができる書籍やインターネットホームページの確立が必要と思われる。また言葉だけではなく、浄土真宗の教えに関しても、調べる人の知識レベルに応じたホームページが必要と思われる。
- ✓ 上記は調べるツールに過ぎず、きっかけは僧侶が門徒に積極的に働きかけることが最重要と思われる。



5. 報恩講



「報恩講」の認知は、年代別で大きな開きが出る結果。言葉、意義ともに知っている比率は20%に留まる。

- 男性では20代の「報恩講という言葉、意義ともに知っている」比率が26%と高く、男性50代では比率が12%と低い。
- 女性では70代の「報恩講という言葉、意義ともに知っている」比率が33%と高く、「報恩講を全く知らない」比率が15%とかなり低い。

Q25：「報恩講」認知度

※真宗10派

- 「報恩講」という言葉、意義ともに知っていた
- 「報恩講」の意義は聞いたことがあるが、その言葉は知らなかった（他の言い方は知っていた）
- 「報恩講」という言葉は聞いたことがあるが、その意義は知らなかった
- 「報恩講」という言葉も、意義も知らなかったが、他の言い方は聞いたことがある
- 「報恩講（他の言い方を含む）」を全く知らない

		n=						(%)	認知系
全体		(2,000)	20.6	11.2	31.2	5.2	31.9		68.1
性別・年代別	男性 全体	(1,095)	19.3	11.1	31.1	5.8	32.7		67.3
	20代	(71)	26.8	18.3	21.1	8.5	25.4		74.6
	30代	(120)	20.8	10.0	25.8	8.3	35.0		65.0
	40代	(152)	14.5	9.2	25.0	5.9	45.4		54.6
	50代	(212)	12.3	11.3	29.2	5.2	42.0		58.0
	60代	(288)	22.2	9.4	34.0	5.6	28.8		71.2
	70代	(252)	21.8	12.7	38.1	4.8	22.6		77.4
	女性 全体	(905)	22.2	11.2	31.3	4.4	30.9		69.1
	20代	(47)	17.0	17.0	17.0	6.4	42.6		57.4
	30代	(79)	12.7	5.1	21.5	6.3	54.4		45.6
	40代	(133)	9.0	9.8	31.6	4.5	45.1		54.9
	50代	(156)	17.3	11.5	28.2	5.1	37.8		62.2
	60代	(241)	24.9	11.2	35.7	3.7	24.5		75.5
	70代	(249)	33.7	12.4	34.5	3.6	15.7		84.3



参拝経験、今後の参拝意向とも「菩提寺で行う報恩講」がそれぞれ29%、54%と最も高い。

- 参拝経験で「僧侶が自宅に来て行う報恩講」28%、「本山の報恩講」18%である。
- 「参拝したことがないが機会があれば参拝したい」比率は菩提寺の報恩講が35%、本山の報恩講が37%であり潜在的な参拝者は低い数値ではない。

Q26 : 「報恩講」参拝意向

※真宗10派、報恩講 認知者ベース

- 参拝したことがあり、今後も参拝したい
- 参拝したことがあるが、今後は参拝する意向はない
- 参拝したことはないが、機会があれば参拝したい
- 参拝したことがなく、今後も参拝する意向はない

	n=	n= (%)				参拝経験 あり	参拝意向 あり
菩提寺(もしくは定期的に訪問する寺院)で行う報恩講	(1,362)	19.2	10.0	35.5	35.2	29.2	54.8
僧侶が自宅に来て行う報恩講	(1,362)	17.7	11.0	20.8	50.5	28.7	38.5
本山の報恩講 (自身が所属する宗派)	(1,362)	11.4	6.8	37.2	44.6	18.2	48.6
菩提寺(もしくは定期的に訪問する寺院)以外の地域の寺院が行う報恩講	(1,362)	7.3	6.5	25.7	60.4	13.9	33.0
特に子どもを対象とした報恩講 (菩提寺もしくは定期的に訪問する寺院)	(1,362)	4.5	5.6	21.4	68.1	10.5	25.8
本山の報恩講 (自身が所属する宗派以外)	(1,362)	4.9	5.4	24.6	65.1	10.4	29.5
特に子どもを対象とした報恩講 (本山)	(1,362)	3.5	5.9	19.9	70.7	9.4	23.4

※参拝経験あり(「参拝したことがあり、今後も参拝したい」+「参拝したことがあるが、今後は参拝する意向はない」)
※参拝意向あり(「参拝したことがあり、今後も参拝したい」+「参拝したことはないが、機会があれば参拝したい」)

報恩講参拝のきっかけになるもの

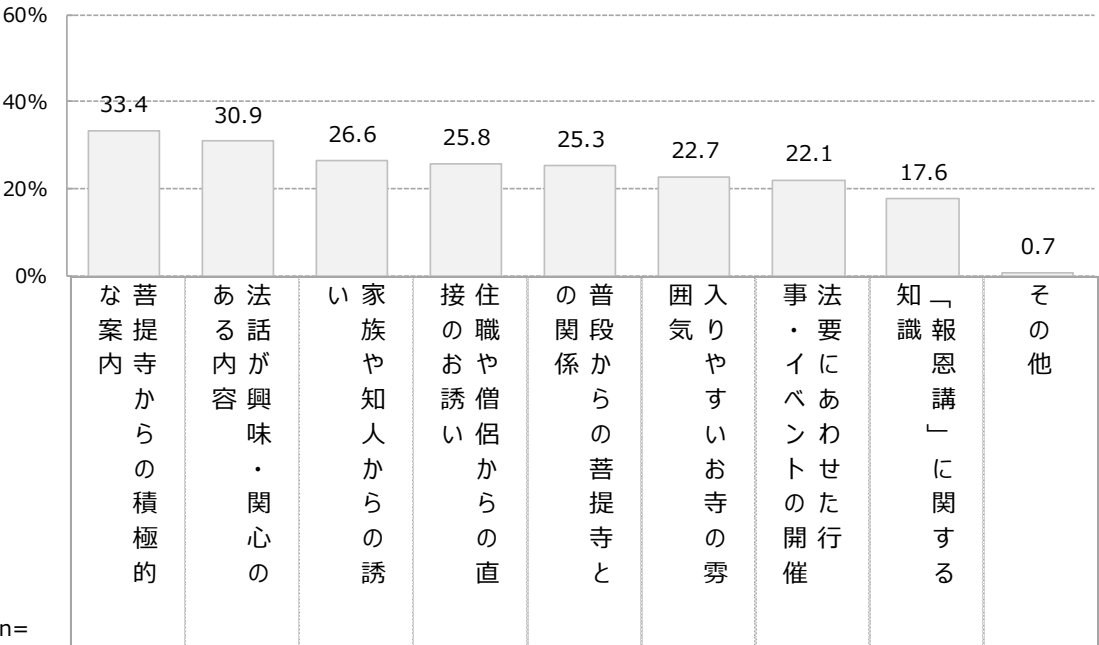


「報恩講」参拝のきっかけとなるのは、真宗10派では「菩提寺からの積極的な案内」がトップ。

- 「報恩講」参拝のきっかけとなるものは、分散傾向にある。「菩提寺からの積極的な案内」という受動的なきっかけが33%、「法話が興味・関心のある内容」という能動的なきっかけが30%と拮抗している。
- 「入りやすいお寺の雰囲気」では男性と女性の回答比率に格差が生じており、女性はお寺に入りづらいと考えている傾向があることが想定される。

Q27：「報恩講」参拝のきっかけになるもの

※真宗10派、報恩講 参拝意向者（未経験者）ベース【複数回答】



n=30以上の場合

[比率の差]	
全体	+10 ポイント
全体	+5 ポイント
全体	-5 ポイント
全体	-10 ポイント

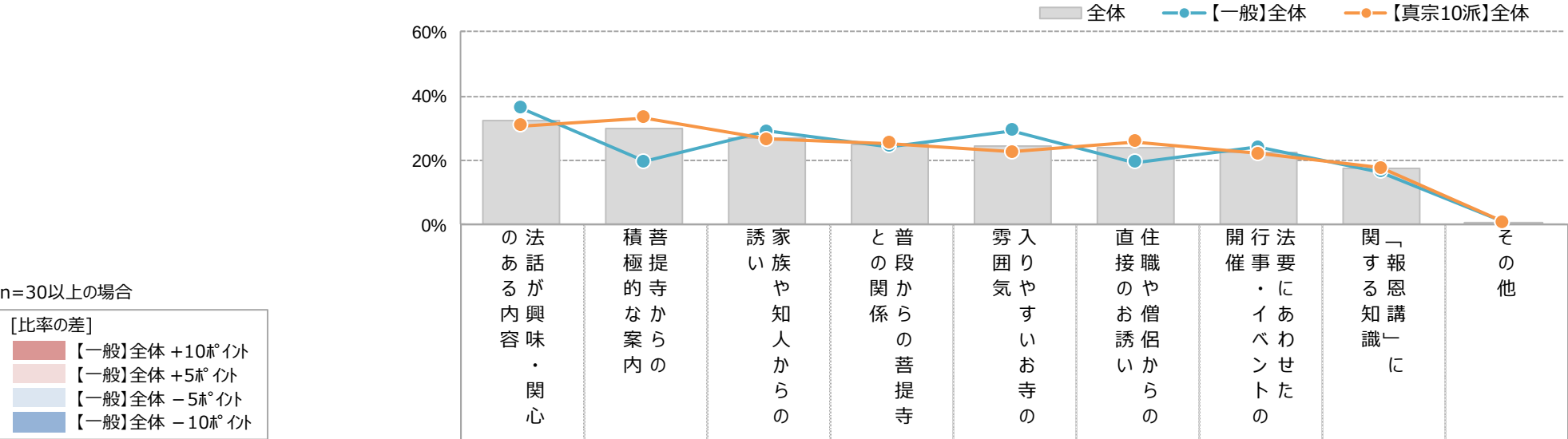
【真宗10派】全体		n=	菩提寺からの積極的な案内	法話が興味・関心のある内容	家族や知人からの誘い	住職や僧侶からの直接のお誘い	普段からの菩提寺との関係	入りやすいお寺の雰囲気	法要イベントの開催	知識「報恩講」に関する	その他
		(806)	33.4	30.9	26.6	25.8	25.3	22.7	22.1	17.6	0.7
性別	男性	(434)	34.3	28.3	24.9	23.7	24.7	18.0	21.9	17.1	0.7
	女性	(372)	32.3	33.9	28.5	28.2	26.1	28.2	22.3	18.3	0.8

報恩講参拝のきっかけになるもの【データ資料編】



Q27 実際に参拝するきっかけになる（と思われる）ものについて、あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

※報恩講 参拝意向者（未経験者）ベース【複数回答】



n=30以上の場合

【比率の差】

- 【一般】全体 +10ポイント
- 【一般】全体 +5ポイント
- 【一般】全体 -5ポイント
- 【一般】全体 -10ポイント

全体			(1,085)	32.3	29.9	27.2	25.1	24.4	24.1	22.6	17.3	0.7
信仰・年代別	【一般】	全体	(279)	36.2	19.7	29.0	24.4	29.4	19.4	24.0	16.5	0.7
		20-30代	(81)	34.6	23.5	40.7	21.0	28.4	22.2	29.6	19.8	-
		40-50代	(89)	34.8	18.0	27.0	20.2	25.8	15.7	21.3	14.6	-
		60-70代	(109)	38.5	18.3	22.0	30.3	33.0	20.2	22.0	15.6	1.8
	【真宗10派】	全体	(806)	30.9	33.4	26.6	25.3	22.7	25.8	22.1	17.6	0.7
		20-30代	(137)	32.1	29.9	36.5	26.3	21.9	26.3	29.2	13.9	-
		40-50代	(226)	31.0	24.8	31.0	21.7	24.3	24.3	23.9	17.3	1.3
		60-70代	(443)	30.5	38.8	21.2	26.9	22.1	26.4	19.0	19.0	0.7
信仰・関与度別	熱心層		(176)	37.5	36.9	28.4	23.3	19.3	34.1	26.1	23.9	-
	中間層		(415)	34.7	33.7	25.3	29.6	27.5	23.6	22.9	18.1	-
	無関心層		(389)	26.7	26.5	28.8	22.9	22.1	23.1	19.8	15.4	2.1
菩提寺有無別	あり		(881)	32.8	33.6	26.7	26.6	24.0	26.8	22.4	17.3	0.9
	なし		(204)	29.9	13.7	29.4	18.6	26.5	12.7	23.5	17.6	-
居住環境別	首都圏の人口過密地域		(173)	32.4	27.7	30.1	24.3	27.2	18.5	21.4	17.3	0.6
	首都圏以外の人口過密地域		(221)	36.7	30.3	28.1	26.7	21.7	26.2	21.3	19.5	-
	過密でも過疎でもない中間的な地域		(590)	32.0	30.7	25.9	25.4	25.1	24.6	22.5	17.1	0.8
	過疎地域		(101)	23.8	27.7	27.7	20.8	21.8	26.7	27.7	13.9	2.0

※「全体」スコアで降順ソート

報恩講へ参拝したくなる取組み



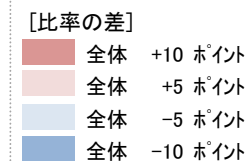
「報恩講」参拝を促進する取組みでは「お経や儀式作法の意味を分かりやすく解説」が44%と最も高い。

- お経や儀式作法を分かりやすく解説するパンフレットなどの事前交付により、知的欲求を満たし参画の意識を高める施策は効果的と思われる。
- 女性は「精進料理のふるまい」や「カフェ」、「屋台」など、食文化と併せた体験を好む傾向が読み取れる。

Q28：「報恩講」へ参拝したくなる取組み

※真宗10派
【複数回答】

n=30以上の場合



【真宗10派】		全体	(2,000)	44.0	26.7	17.9	15.8	11.8	10.8	10.8	10.4	8.5	8.2	6.3	4.7	2.4	0.4	27.9
性別・年代別	男性	全体	(1,095)	41.1	22.6	15.3	14.8	11.2	8.9	10.5	6.8	8.2	8.7	4.7	5.3	2.1	0.4	30.8
		20代	(71)	40.8	36.6	14.1	14.1	5.6	22.5	9.9	22.5	16.9	14.1	12.7	8.5	5.6	0.0	9.9
		30代	(120)	50.0	28.3	18.3	20.8	12.5	7.5	20.8	13.3	16.7	21.7	11.7	5.8	5.8	0.8	20.0
		40代	(152)	36.8	32.2	8.6	13.8	3.9	7.9	16.4	7.9	7.2	10.5	4.6	5.3	2.0	0.0	31.6
		50代	(212)	39.2	19.3	9.4	10.4	8.5	12.3	11.3	3.3	7.1	5.2	5.2	4.2	3.3	0.0	34.4
		60代	(288)	39.9	19.8	18.1	15.3	12.5	6.3	5.9	3.1	6.3	5.2	2.1	3.8	0.3	1.0	32.6
		70代	(252)	42.5	16.3	20.2	15.9	17.5	6.3	6.7	6.0	5.6	6.7	2.0	6.7	0.4	0.0	36.1
	女性	全体	(905)	47.4	31.5	20.9	16.9	12.4	13.0	11.0	14.6	8.7	7.5	8.1	4.0	2.8	0.3	24.4
		20代	(47)	40.4	36.2	14.9	8.5	8.5	14.9	23.4	25.5	6.4	17.0	19.1	6.4	8.5	0.0	21.3
		30代	(79)	53.2	41.8	13.9	17.7	13.9	7.6	24.1	30.4	13.9	8.9	22.8	6.3	5.1	0.0	21.5
		40代	(133)	47.4	37.6	20.3	16.5	4.5	11.3	14.3	19.5	7.5	9.8	9.8	3.8	3.8	0.8	21.1
		50代	(156)	44.2	28.2	18.6	19.2	8.3	16.7	10.3	19.2	5.8	8.3	9.6	3.2	3.2	0.6	28.2
		60代	(241)	46.1	26.1	21.6	17.8	14.9	12.0	7.5	7.9	8.7	5.4	4.1	1.7	0.8	0.0	27.8
		70代	(249)	50.2	31.3	25.3	16.1	16.9	14.1	6.8	8.4	10.0	5.6	3.2	5.6	2.0	0.4	22.1



データから 見える ポイント

- ✓ 真宗10派において「報恩講」の言葉の認知は68.1%と高い状況となっているが、参拝経験は低く、最も高い「菩提寺で行う報恩講」でも29.2%となっている。
- ✓ 未参拝者において、「菩提寺で行う報恩講」の参拝意向が35.5%、「本山で行う報恩講」の参拝意向も37.2%と高いことから、「潜在的な参拝者」は多いこと、および「本山の潜在力」が感じられる。
- ✓ 参拝のきっかけとしては「菩提寺からの積極的な案内」が上位に挙がり、門徒は菩提寺からの情報提供を望んでいる状況も想定される。
- ✓ 参拝したくなる取組みでは『「お経や儀式作法」の意味を分かりやすく解説』が上位であり、報恩講を理解したい、ともに参画したいと感じている熱心な門徒が多いことが読み取れる。
- ✓ 若い女性は男性と比較して、お寺が入りづらい場所であると感じていることが想定される。

考えられる 要因

- ✓ 家族形態の変化により世代間継承が薄れているため、家の宗教を始め、法要の意義そのものや儀式作法の意味などの伝達が途切れつつあると考えられる。
- ✓ 報恩講の儀式作法を解説した資料、ホームページを探し切れていない門徒の状況が考えられる。
- ✓ 現代社会は大衆向け広告ではなく、個別広告が主流の中、門徒に声をかけるきっかけをつかめない僧侶の構図が考えられる。

方向性

- ✓ 報恩講を知らない31.9%の門徒、参拝意向をもつ門徒向けに本山報恩講を始めとした大衆向けではない個別に近いプロモーションや女性をターゲットとしたプロモーションも必要と思われる。
- ✓ 年代・知識レベルに応じた報恩講の儀式作法の解説資料およびホームページの開設は効果が高いと思われる。



6. オリジナル設問

真宗大谷派（東本願寺）の行事に関する参加・興味

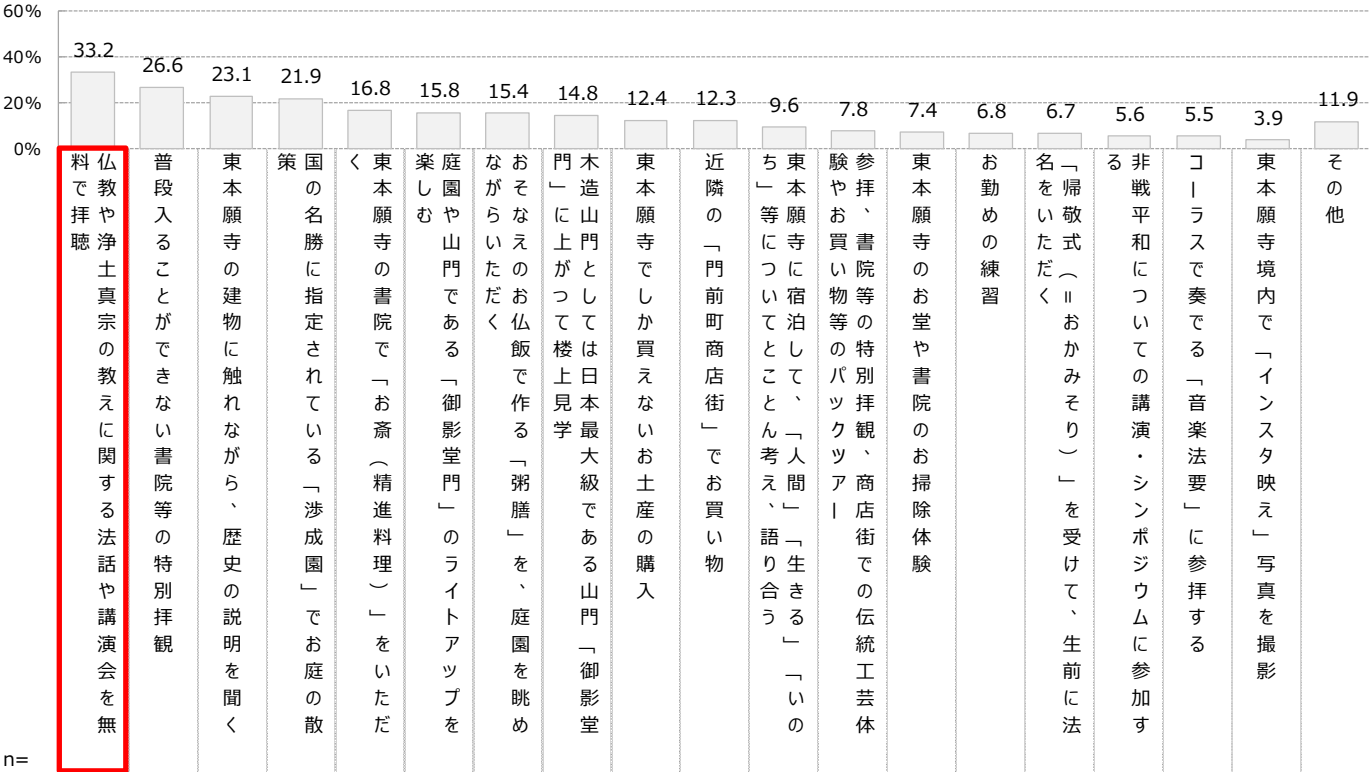


真宗10派では「真宗の教えを拝聴する」が40%と高い比率。女性は特別拝観やお斎など「特別な体験」に関心が高い。

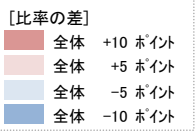
■ 書院や渉成園など、特別感の高い場所に関しては真宗10派、一般に関わらず女性の関心を引くことが分かる。

Q31：真宗大谷派の興味があるまたは参加したいと思う行事・催事

※全員ベース
【複数回答】



n=30以上の場合



全体			(4,000)	33.2	26.6	23.1	21.9	16.8	15.8	15.4	14.8	12.4	12.3	9.6	7.8	7.4	6.8	6.7	5.6	5.5	3.9	11.9
信仰・性別	【一般】 全体		(2,000)	26.1	23.1	20.2	18.5	14.2	16.1	14.3	12.4	13.3	12.6	7.7	6.9	6.5	5.3	3.8	5.1	4.9	4.2	16.2
	男性		(967)	28.3	19.0	19.0	14.9	10.9	11.8	11.3	10.7	12.1	12.5	7.5	6.5	5.8	6.1	3.6	6.3	4.3	3.9	18.2
	女性		(1,033)	23.9	26.9	21.3	21.9	17.2	20.0	17.0	14.0	14.3	12.6	7.8	7.3	7.2	4.5	3.9	3.9	5.3	4.5	14.2
	【真宗10派】 全体		(2,000)	40.3	30.1	25.9	25.3	19.5	15.5	16.6	17.2	11.6	12.0	11.5	8.7	8.3	8.3	9.7	6.2	6.2	3.6	7.7
	男性		(1,095)	39.7	26.6	25.8	21.8	16.0	12.3	13.0	15.2	11.1	12.1	11.1	8.2	7.2	7.6	10.6	7.6	5.1	4.3	8.6
	女性		(905)	41.0	34.3	26.0	29.4	23.6	19.3	21.0	19.7	12.2	11.8	12.0	9.3	9.6	9.2	8.5	4.4	7.4	2.8	6.5



信仰心、菩提寺との関わりが高い人の内容理解の比率は高いが、専門的な難しい言葉が多いという比率もそれ以上に高い。

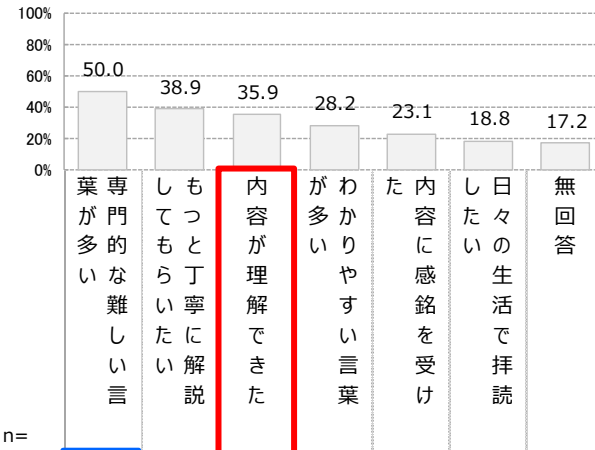
- 「浄土真宗の救いのよろこび」の「内容理解」に関しては、菩提寺有無や関係性など菩提寺との心理的な距離とは相関性が高いことが分かる。
- 「専門的な難しい言葉が多い」に関しては、菩提寺の有無や関係性の相関性は内容理解よりも若干低い。

Q30：「浄土真宗の救いのよろこび」の評価

※全員ベース

n=30以上の場合

[比率の差]	
全体	+10 ポイント
全体	+5 ポイント
全体	-5 ポイント
全体	-10 ポイント



全体		(4,000)	50.0	38.9	35.9	28.2	23.1	18.8	17.2
信仰・関与度別	熱心層	(321)	38.6	39.9	59.5	49.2	48.9	48.3	12.5
	中間層	(894)	44.7	44.4	51.2	38.6	38.3	32.6	10.5
	無関心層	(1,677)	51.2	39.2	32.8	27.1	18.1	13.1	17.1
菩提寺有無別	あり	(2,545)	47.9	40.6	43.2	34.1	28.0	23.7	13.6
	なし	(1,455)	53.5	35.9	23.0	17.9	14.5	10.3	23.4
菩提寺との関係性別	自分が中心	(762)	44.9	38.7	51.4	42.4	37.0	33.7	11.5
	中心で関わっている者と同居	(752)	50.0	43.5	42.4	31.8	25.9	22.3	12.2
	中心となっておらず、関わっている者とも同居なし	(1,031)	48.7	39.9	37.6	29.6	22.9	17.2	16.0
居住環境別	首都圏の人口過密地域	(856)	51.3	37.5	32.7	25.6	19.6	17.9	19.9
	首都圏以外の人口過密地域	(731)	49.1	38.9	39.3	31.1	25.9	18.7	15.9
	過密でも過疎でもない中間的な地域	(2,066)	48.8	39.5	36.6	28.7	23.8	19.7	16.5
	過疎地域	(347)	55.0	38.6	32.0	25.6	21.6	16.1	17.0

傾向

- ✓ 全体では「専門的な難しい言葉が多い」の比率が一番高い。
- ✓ 属性により相関性が高く表れている回答もある。
- ✓ 「内容が理解できた」の回答比率は属性別に大きな格差が表れている。

✓ 信仰/関与度と内容理解には相関性がある
⇒信仰心/寺院関与度が高いと理解度も高い

✓ 菩提寺有無と内容理解には相関性がある
⇒菩提寺があると理解度が高い

✓ 菩提寺との関係と内容理解には相関性がある
⇒自分が中心もしくは同居していると理解度が高い

✓ 地域や過疎と内容理解には特徴がある
⇒首都圏、過疎地域が低い



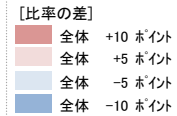
浄土真宗本願寺派信仰者の内容理解は47%と高く、さらに信仰心があつい層では内容理解は70%を超える。

- 浄土真宗本願寺派信仰者であっても「専門的な難しい言葉が多い」比率も44.9%と内容理解と同程度に高い水準である。
- 男性よりも女性の内容理解、感銘を受けた比率が高い傾向が出ている。しかし、女性20代は「専門的な難しい言葉が多い」の回答比率が56.3%と言葉が内容理解の大きな壁となっていることが推察される。

Q30：「浄土真宗の救いのよろこび」の評価

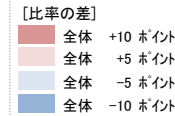
※信仰している宗派＝浄土真宗本願寺派

n=30以上の場合



		n=	内容が理解できた	内容に感銘を受けた	多 い か り や す い 言 葉 が	た い 日 々 の 生 活 で 拝 読 し	が 専 門 的 な 難 し い 言 葉	も っ と ら い た 寧 ろ に 解 説 し	無 回 答
浄土真宗本願寺派信仰 全体		(1,227)	47.7	32.2	37.9	26.5	44.9	39.0	13.0
年 代 別	20-30代	(188)	35.6	20.2	24.5	21.8	51.6	51.6	12.8
	40-50代	(420)	41.0	25.0	29.5	18.1	48.3	38.8	16.7
	60-70代	(619)	55.9	40.7	47.7	33.6	40.5	35.4	10.5
信 仰 ・ 関 連 性 別	熱心層	(132)	73.5	62.1	60.6	59.8	40.2	38.6	4.5
	中間層	(403)	55.8	41.9	41.9	36.0	40.7	40.9	10.2
	無関心層	(692)	38.0	20.8	31.2	14.6	48.3	38.0	16.2
菩 提 寺 有 無 別	あり	(951)	51.1	34.0	40.0	28.6	44.6	39.2	11.3
	なし	(276)	35.9	26.1	30.8	19.2	46.0	38.4	18.8
関 係 性 別	自分が中心	(336)	58.0	44.3	47.6	39.9	41.4	35.7	8.9
	中心で関わっている者と同居	(280)	45.4	25.7	34.3	23.9	50.4	46.1	9.6
	中心となっておらず、関わっている者とも同居なし	(335)	49.0	30.4	37.0	21.2	43.0	37.0	14.9
居 住 環 境 別	首都圏の人口過密地域	(158)	52.5	38.0	43.0	34.8	42.4	35.4	14.6
	首都圏以外の人口過密地域	(248)	51.6	35.1	43.1	29.0	41.9	36.7	11.3
	過密でも過疎でもない中間的な地域	(720)	46.3	30.7	35.7	24.3	45.3	40.7	13.2
	過疎地域	(101)	40.6	26.7	32.7	22.8	53.5	38.6	12.9

n=30以上の場合



		n=	内容が理解できた	内容に感銘を受けた	多 い か り や す い 言 葉 が	た い 日 々 の 生 活 で 拝 読 し	が 専 門 的 な 難 し い 言 葉	も っ と ら い た 寧 ろ に 解 説 し	無 回 答
浄土真宗本願寺派信仰 全体		(1,227)	47.7	32.2	37.9	26.5	44.9	39.0	13.0
信 仰 ・ 性 ・ 年 代 別	男性 全体	(676)	45.3	29.7	36.7	25.1	43.5	40.1	14.9
	20代	(37)	29.7	16.2	18.9	24.3	45.9	48.6	18.9
	30代	(71)	36.6	26.8	29.6	25.4	50.7	54.9	9.9
	40代	(94)	40.4	26.6	26.6	17.0	50.0	41.5	16.0
	50代	(151)	40.4	21.2	29.8	18.5	45.0	36.4	19.9
	60代	(170)	49.4	32.9	41.2	33.5	41.2	38.2	12.9
	70代	(153)	56.2	41.2	52.3	27.5	36.6	35.9	13.1
	女性 全体	(551)	50.6	35.2	39.4	28.1	46.6	37.7	10.5
	20代	(32)	37.5	15.6	25.0	25.0	56.3	46.9	12.5
	30代	(48)	37.5	16.7	20.8	12.5	54.2	52.1	12.5
	40代	(81)	45.7	27.2	23.5	12.3	50.6	44.4	14.8
	50代	(94)	38.3	27.7	37.2	23.4	50.0	35.1	13.8
	60代	(144)	52.1	36.8	36.1	29.2	50.0	38.2	9.0
	70代	(152)	66.4	52.6	61.2	44.1	34.9	28.9	6.6

※信仰している宗派が「浄土真宗本願寺派」と回答したデータを抽出



信仰している宗教がない人の「内容が理解できた」比率は、浄土真宗本願寺派信仰者の約半分の21%。

- 信仰している宗教がない一般の人、浄土真宗本願寺派信仰者と同様に、女性の20代から50代にかけて60%以上が「専門的な難しい言葉が多い」と回答しており、言葉が壁となり内容が伝わりづらい状況と推察される。

Q30：「浄土真宗の救いのよろこび」の評価

※信仰している宗教=なし

n=30以上の場合

【比率の差】			
全体	+10 ポイント		
全体	+5 ポイント		
全体	-5 ポイント		
全体	-10 ポイント		

		n=	内容が理解できた	内容に感銘を受けた	多 い か り や す い 言 葉 が	た い 々 の 生 活 で 拝 読 し	が 多 い 専 門 的 な 難 し い 言 葉	も と と ら い た 寧 ろ に 解 説 し	無 回 答
信仰しているものなし 全体		(1,108)	21.2	10.9	15.3	7.9	55.5	33.7	24.0
年 代 別	20-30代	(384)	14.8	7.8	9.6	4.7	60.2	37.5	25.3
	40-50代	(434)	21.4	10.1	12.7	8.5	58.8	35.9	21.2
	60-70代	(290)	29.3	16.2	26.9	11.0	44.5	25.2	26.6
信 仰 ・ 関 連 度 別	熱心層	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中間層	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無関心層	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
菩 提 寺 有 無 別	あり	(384)	29.9	14.6	22.9	13.3	53.4	33.3	19.5
	なし	(724)	16.6	9.0	11.3	5.0	56.6	33.8	26.4
関 係 性 別	自分が中心	(47)	48.9	25.5	36.2	23.4	48.9	38.3	14.9
	中心で関わっている者と同居	(92)	30.4	17.4	27.2	14.1	48.9	30.4	21.7
	中心となっておらず、関わっている者とも同居なし	(245)	26.1	11.4	18.8	11.0	55.9	33.5	19.6
居 住 環 境 別	首都圏の人口過密地域	(375)	22.4	10.7	17.3	8.5	55.7	34.7	22.1
	首都圏以外の人口過密地域	(178)	20.8	11.8	16.3	5.6	56.7	37.1	22.5
	過密でも過疎でもない中間的な地域	(477)	21.4	10.9	14.5	9.0	54.3	31.9	26.0
	過疎地域	(78)	15.4	10.3	9.0	2.6	59.0	32.1	24.4

n=30以上の場合

【比率の差】			
全体	+10 ポイント		
全体	+5 ポイント		
全体	-5 ポイント		
全体	-10 ポイント		

		n=	内容が理解できた	内容に感銘を受けた	多 い か り や す い 言 葉 が	た い 々 の 生 活 で 拝 読 し	が 多 い 専 門 的 な 難 し い 言 葉	も と と ら い た 寧 ろ に 解 説 し	無 回 答
信仰しているものなし 全体		(1,108)	21.2	10.9	15.3	7.9	55.5	33.7	24.0
信 仰 ・ 性 ・ 年 代 別	男性 全体	(520)	19.8	9.4	14.2	7.1	53.5	32.7	26.2
	20代	(89)	16.9	9.0	10.1	6.7	51.7	31.5	31.5
	30代	(107)	17.8	8.4	12.1	3.7	60.7	36.4	20.6
	40代	(114)	14.0	6.1	10.5	5.3	55.3	36.0	25.4
	50代	(82)	28.0	7.3	17.1	7.3	54.9	31.7	19.5
	60代	(86)	23.3	14.0	17.4	11.6	48.8	30.2	32.6
	70代	(42)	23.8	16.7	26.2	11.9	40.5	23.8	31.0
	女性 全体	(588)	22.4	12.2	16.3	8.5	57.3	34.5	22.1
	20代	(89)	9.0	6.7	5.6	4.5	67.4	43.8	25.8
	30代	(99)	15.2	7.1	10.1	4.0	60.6	38.4	24.2
	40代	(143)	24.5	14.7	14.7	14.0	61.5	39.2	18.9
	50代	(95)	20.0	10.5	8.4	5.3	62.1	34.7	21.1
	60代	(91)	30.8	19.8	27.5	12.1	48.4	26.4	25.3
	70代	(71)	38.0	14.1	38.0	8.5	36.6	18.3	18.3

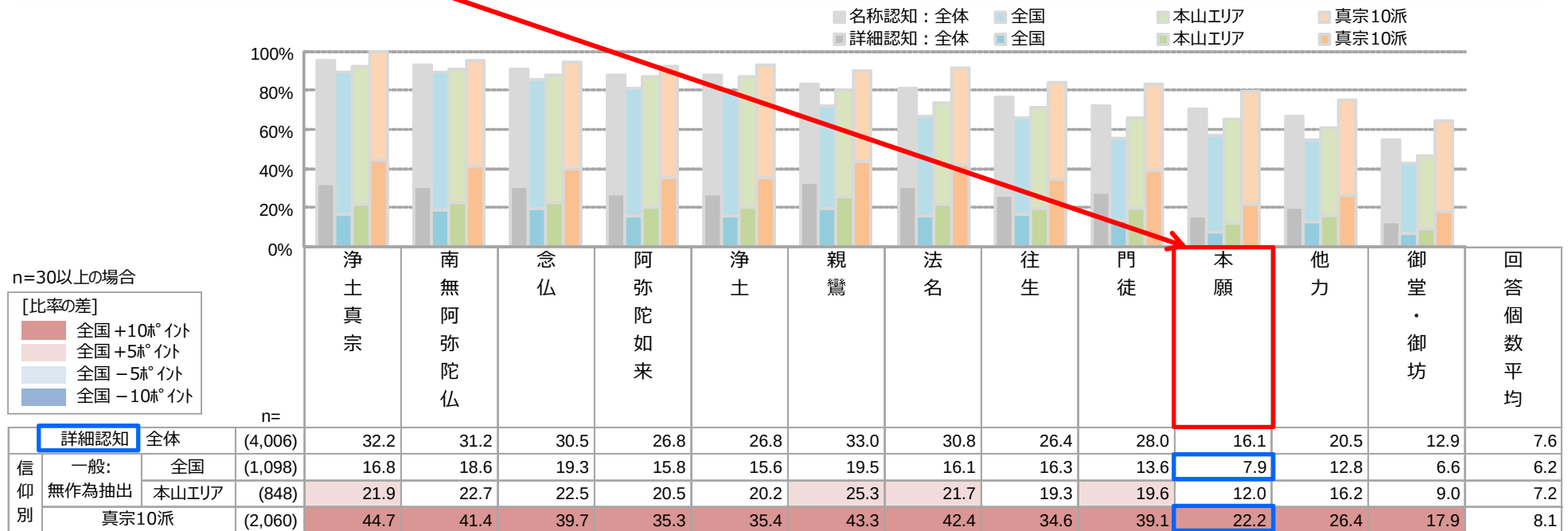


「浄土真宗の救いのよろこび」にて使われている言葉の一つ「本願」の名称認知は真宗10派で79%、一般無作為抽出でも57%と比較的高いが、詳細認知になると真宗10派で22%、一般で8%であり、大半の人が単語の意味まで理解できていない。

■ 言葉の意味が理解してもらい、全体の内容を伝えるためには理解度の低い言葉に補則することもある。

浄土真宗の救いのよろこび

阿弥陀如来の**本願**は かならず救うまかせよ 南無阿弥陀仏のみ名となり たえず私によびかけます/このよび声を聞きひらき 如来の救いにまかすとき 永遠に消えない灯火が 私の心にとります/如来の大悲に生かされて **御恩報謝**のよろこびに 南無阿弥陀仏を称えつつ 真実の道を歩みます/この世の縁の尽きるとき 如来の浄土に生まれては さとの智慧をいただいて あらゆるいのちを救います/宗祖親鸞聖人が 如来の真実を示された **浄土真宗のみ教え**を 共によろこび広めます



表のスコアは「意味や内容まで知っている」

項目	グループ	浄土真宗	南無阿弥陀仏	念仏	阿弥陀如来	浄土	親鸞	法名	往生	門徒	本願	他力	御堂・御坊	回答個数平均
名称認知	全体 (n=4,006)	95.4	92.8	90.7	88.1	87.9	83.1	81.0	76.3	72.2	70.5	66.6	55.1	13.1
	一般：全国 (n=1,098)	89.0	89.2	85.2	81.2	79.0	72.3	67.1	66.4	55.4	57.0	54.9	42.9	10.9
	無作為抽出 本山エリア (n=848)	92.6	90.6	88.0	86.9	87.0	80.7	73.5	71.0	66.4	65.6	60.6	47.0	12.1
	真宗10派 (n=2,060)	100.0	95.7	94.7	92.3	93.0	89.7	91.4	83.8	83.5	79.8	75.4	64.9	14.6
	信仰別													

表のスコアは「意味や内容まで知っている」+「名前だけは知っている」

※「名称認知：全体」スコアで降順ソート



「浄土真宗の救いのよろこび」と「真宗教団連合結成50周年共同宣言」の表現を比較すると、工夫による格差が表れている。

■ 真宗教団連合結成50周年共同宣言では、わかりやすい言葉で書かれており、さらに宣言の背景を補則することで内容まで理解しやすくなっている。

浄土真宗の救いのよろこび

阿弥陀如来の**本願**は かならず救うまかせよと
南無阿弥陀仏のみ名となり たえず私によびかけます

このよび声を聞きひらき 如来の救いにまかすとき
永遠に消えない灯火が 私の中にとります

如来の大悲に生かされて **御恩報謝**のよろこびに
南無阿弥陀仏を称えつつ 真実の道を歩みます

この世の縁の尽きるとき 如来の浄土に生まれては
さとの智慧をいただいて あらゆるいのちを救います

宗祖親鸞聖人が 如来の真実を示された
浄土真宗のみ教えを 共によろこび広めます

誰を対象とするのか？

- ⇒ 浄土真宗本願寺派の門徒
- ⇒ 一般の人たち

一般の人たちの理解度が低い言葉は
丁寧に説明してあげることが必要

真宗教団連合結成 50周年共同宣言

私たち真宗教団連合は、結成より50年を迎えるにあたり、ここに宣言いたします。

- 1 私たちは、いのちあるすべての存在が互いに響き合う世界、誰一人取り残されることなく、共に生きることのできる世界を目指し、取り組んでまいります。
- 2 前項の目的を達するため、世界に開かれた真宗教団として共同し、各宗派間における情報交換や事業交流を進めるとともに、他団体とも広い協力関係を構築するよう、つとめてまいります。

現代は、自分を優先し、誰かが取り残されても仕方がないという考えへと人びとを動かす、厳しい時代にあります。この自分優先のあり方の中では、人は孤立し、何のために生きてきたのかと問い、人生への空しさを感じざるをえないことでしょう。

浄土真宗をお開きになった親鸞聖人は、「煩惱成就のわれら」という言葉で、煩惱によってしか成り立っていない、煩惱から逃れられない人間存在の姿をお示しになっておられます。そこに教えられているのは、私もあなたも同じ、煩惱から逃れられない「われら」であるという共感であり、この共感から、煩惱を減することなく煩惱の身のままに、共生への歩みがはじまる、ということです。

現代に必要なのは、一握りの知恵者ではなく、誰もが共に語り合うことができる、広やかな、豊かな人間関係の回復だと考えます。そして、その回復への起点にあるのが、悲しみや苦しみを抱えた「われら」という共感です。

私たちは、宗教者の責務として、現代に生きる人びとの苦悩に向き合い、共に生きることのできる世界を願ってまいります。

補則文章が併記されている。

2018年4月18日

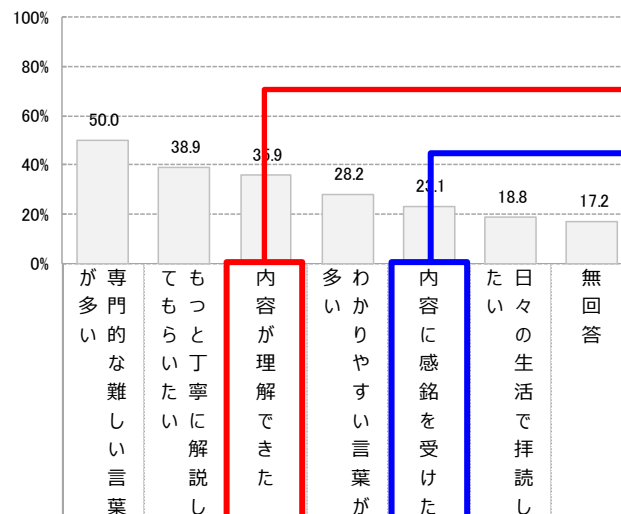


工夫することで「内容の理解」と「感銘/共感」の比率が向上することがわかる。

- 文章が長くても、言葉や背景を補足説明するなど、工夫することで内容が理解できれば、次のステップの「内容に共感する」比率が高まる。
- 50周年共同宣言は懸賞広告雑誌などの媒体に載せていることで、20-30代の「以前から読んだことがあった」との比率が高まっていることも想定される。

Q30 : 「浄土真宗の救いのよろこび」の評価

※全体ベース



[比率の差]

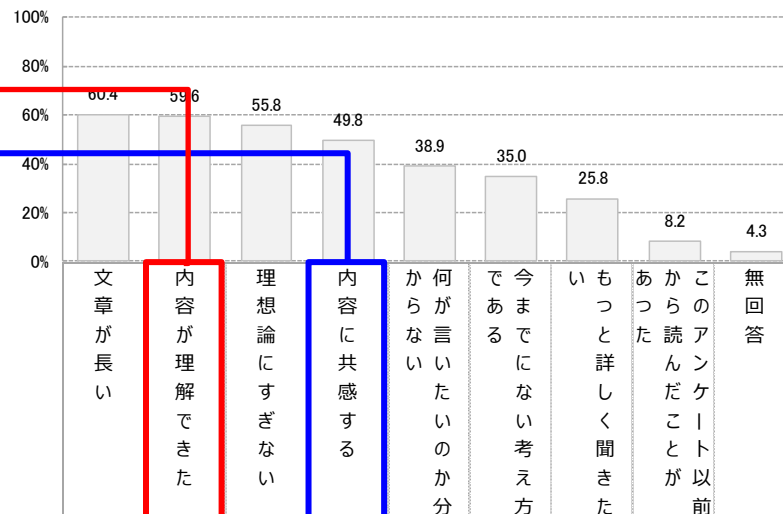
- 全体 +10 ポイント
- 全体 +5 ポイント
- 全体 -5 ポイント
- 全体 -10 ポイント

n=

		全体	(4,000)	50.0	38.9	35.9	28.2	23.1	18.8	17.2
信仰・性・年代別	【一般】 全体	(2,000)	53.9	36.6	25.0	19.6	13.5	10.8	22.2	
	20-30代	(620)	61.0	42.6	17.1	12.6	9.2	7.4	21.5	
	40-50代	(726)	55.9	36.0	25.1	17.1	13.1	9.8	21.3	
	60-70代	(654)	45.0	31.7	32.3	28.9	17.9	15.0	23.7	
	【真宗10派】 全体	(2,000)	46.0	41.2	46.8	36.9	32.8	26.9	12.2	
	20-30代	(317)	54.3	53.3	34.7	25.2	23.7	22.4	12.0	
	40-50代	(653)	47.9	40.9	40.6	29.2	26.0	17.9	15.9	
	60-70代	(1,030)	42.2	37.7	54.4	45.2	39.8	33.9	9.8	

Q29 : 「真宗教団連合結成 50周年共同宣言」の評価

※全体ベース



n=

		全体	(4,000)	60.4	59.6	55.8	49.8	38.9	35.0	25.8	8.2	4.3
信仰・性・年代別	【一般】 全体	(2,000)	64.7	51.7	59.7	39.2	45.0	29.3	18.4	5.2	5.5	
	20-30代	(620)	69.4	48.5	60.8	35.5	49.4	27.7	16.9	5.6	6.0	
	40-50代	(726)	65.6	52.5	60.2	37.3	46.6	28.9	15.7	3.6	3.9	
	60-70代	(654)	59.2	53.7	58.1	44.6	39.1	31.2	22.6	6.4	6.7	
	【真宗10派】 全体	(2,000)	56.1	67.5	51.9	60.4	32.8	40.6	33.3	11.2	3.2	
	20-30代	(317)	63.1	65.3	55.8	54.9	39.7	37.2	36.3	15.5	2.8	
	40-50代	(653)	61.4	63.1	52.2	53.1	32.3	36.9	28.0	8.9	4.9	
	60-70代	(1,030)	50.5	71.0	50.4	66.6	31.0	44.0	35.6	11.3	2.1	



真宗10派、一般に関わらず、女性20代、30代における「専門的な難しい言葉が多い」との比率は男性と比較して高い。

- 真宗10派では、女性60代、70代の「内容が理解できた」比率は高いが、20代、30代では「専門的な難しい言葉が多い」比率が高い。
- このことは若い世代の、特に女性は言葉の理解でつまづき、内容理解までたどりつかない状況であることが想定される。現状のままでは若い世代の内容理解は進まず、家庭での相続、すなわち、この年代の次の世代の子供たちにも正しく伝わらない可能性が高まると思われる。
- 文章作成時や作成途中に女性の視点を取り入れることも、浄土真宗の教えを正しく伝えていくために大変重要なことと思われる。

Q30：「浄土真宗の救いのよろこび」の評価（真宗10派）

※真宗10派

n=30以上の場合

[比率の差]	
全体 +10 ポイント	
全体 +5 ポイント	
全体 -5 ポイント	
全体 -10 ポイント	

	が専門的な難しい言葉	ももっと丁寧な解説し	内容が理解できた	わかりやすい言葉が	内容に感銘を受けた	日々の生活で拝読し	無回答
--	------------	------------	----------	-----------	-----------	-----------	-----

信仰・性・年代別	【真宗10派】 全体		(2,000)	46.0	41.2	46.8	36.9	32.8	26.9	12.2
	男性 全体		(1,095)	44.6	41.1	44.1	35.3	29.0	25.1	14.5
	20代		(71)	50.7	54.9	28.2	21.1	23.9	29.6	19.7
	30代		(120)	50.8	51.7	35.8	29.2	25.0	24.2	10.8
	40代		(152)	49.3	40.8	38.8	24.3	23.7	15.1	16.4
	50代		(212)	46.2	37.7	38.7	29.7	22.6	17.9	19.3
	60代		(288)	43.8	39.9	51.0	39.2	31.3	32.3	11.5
	70代		(252)	36.5	36.5	52.4	49.2	38.5	28.2	13.1
	女性 全体		(905)	47.7	41.3	49.9	38.7	37.2	29.0	9.3
	20代		(47)	61.7	51.1	36.2	25.5	19.1	23.4	8.5
	30代		(79)	58.2	55.7	38.0	22.8	24.1	12.7	8.9
	40代		(133)	45.9	48.9	45.1	27.1	27.8	13.5	13.5
	50代		(156)	50.6	38.5	41.0	35.3	31.4	24.4	12.8
	60代		(241)	49.8	40.7	50.6	36.9	36.5	30.3	7.9
	70代		(249)	39.0	33.3	63.9	56.2	54.2	45.0	6.4

Q30：「浄土真宗の救いのよろこび」の評価（一般）

※一般

n=30以上の場合

[比率の差]	
全体 +10 ポイント	
全体 +5 ポイント	
全体 -5 ポイント	
全体 -10 ポイント	

	が専門的な難しい言葉	ももっと丁寧な解説し	内容が理解できた	わかりやすい言葉が	内容に感銘を受けた	日々の生活で拝読し	無回答
--	------------	------------	----------	-----------	-----------	-----------	-----

信仰・性・年代別	【一般】 全体		(2,000)	53.9	36.6	25.0	19.6	13.5	10.8	22.2
	男性 全体		(967)	51.1	34.9	24.0	18.6	12.3	10.9	24.8
	20代		(137)	53.3	37.2	17.5	12.4	9.5	10.2	27.7
	30代		(169)	58.6	39.1	20.1	14.2	9.5	8.3	18.9
	40代		(202)	51.0	35.1	23.3	16.8	11.9	7.9	24.3
	50代		(153)	53.6	31.4	25.5	19.6	10.5	11.1	24.8
	60代		(180)	47.2	32.8	26.7	22.8	15.0	13.9	27.2
	70代		(126)	41.3	33.3	31.7	27.0	18.3	15.1	27.0
	女性 全体		(1,033)	56.5	38.2	25.8	20.4	14.5	10.6	19.7
	20代		(141)	68.1	51.1	13.5	8.5	10.6	5.7	19.9
	30代		(173)	63.6	43.4	16.8	14.5	7.5	5.8	20.2
	40代		(201)	61.7	40.3	22.9	15.9	13.9	10.9	18.4
	50代		(170)	57.1	35.9	29.4	16.5	15.9	9.4	18.2
	60代		(196)	49.0	30.6	30.1	27.6	16.3	13.8	23.0
	70代		(152)	40.1	30.3	42.1	39.5	23.0	17.8	17.8



データから 見える ポイント

- ✓ 真宗10派においては、「浄土真宗の教え」を拝聴に関心が高いことや、「浄土真宗の救いのよろこび」の理解度が高いなど浄土真宗の本質の部分に対して感度が高いと想定される。
- ✓ 「特別感のある場所への関心」や「言葉が難しい」など、男性、女性で格差が生じている項目が散見される。
- ✓ 基礎的な言葉を理解しきれていないことから、宗派から「伝えたいこと」が「伝わっていない」ことが分かる。「浄土真宗の救いのよろこび」と「真宗教団連合 共同宣言」との比較から鑑みると、わかりやすい言葉に置き換えるなど、工夫して丁寧に発信することで「伝えたいこと」が「伝わる」ことが想定される。

考えられる 要因

- ✓ 宗派内では常識的な言葉、作法も一般の人たちには理解できていないことが多々あることの認識が薄れていることが考えられる。
- ✓ 浄土真宗の教えを欲している門徒に基礎レベルを学ばせる機会や情報が不足していることが考えられる。
- ✓ 浄土真宗だけではなく、伝統仏教全体が歴史的に男性目線の背景があり、女性は近づきづらいと考えられる。経年により信仰心や理解度が高まることは他の調査でも明らかなことであるが、女性特有の感性に感じられていないことが考えられる。

方向性

- ✓ 門徒であっても信仰心レベルに応じた情報発信や学習機会を周知することが必要と思われる。
- ✓ 前項でも述べたが、女性目線での文章、イベント、学習機会を策定すること、そのためには女性が関与することが必要であると思われる。
- ✓ 住職・僧侶の質を向上し、丁寧に門徒に伝えることは当然であり、さらに一寺院では一般の人と接点を持つ機会には限界があるため、本山、別院にてきっかけを生み出すことが必要であると思われる。



〒600-8358

京都府京都市下京区堀川通花屋町下ル

浄土真宗本願寺派宗務所内

真宗教団連合事務総局

TEL:075-371-5181

第一版 2019年1月21日



真宗教団連合

SHINSYU KYODAN RENGŌ